

# 学生調査

2018年3月卒業予定者の  
就職活動に関する

Pick Up

3月1日時点で  
**33.6%**の学生が  
「面接・試験段階」に突入

2017年  
3月1日  
状況

新卒人材紹介サービス  
認知率・利用率は前年増



## アイデム 人と仕事研究所

WEBサイトでは、採用活動のヒントとなる情報を発信しています。

📄「就職活動に関する学生調査」 📄「新卒採用に関する企業調査」

学生と企業の「今」がわかります

人と仕事 🔍 <https://apj.aidem.co.jp/>

お問い合わせ

▶ 広報担当/望月・栗木 ▶ 調査担当/岸川・古橋・菊地

☎03-5269-8780 ✉kouhousitu@aidem.co.jp

# 結果概要

## 2018 就職活動に関する学生調査 (2017年3月1日状況)

### 進捗状況

#### ▶現在のステータス

##### 【主な活動】

「準備活動段階」……………18.1%  
「エントリー活動段階」……………58.7%  
「面接・試験段階」……………14.0%  
「内定獲得／就活継続段階」……………3.1%

##### 【各活動ステータスに到達した学生の割合】

「準備活動段階」……………94.6% (前年比+1.0ポイント)  
「エントリー活動段階」……………81.0% (前年比+2.7ポイント)  
「面接・試験段階」……………33.6% (前年比+3.6ポイント)

#### ▶会社説明会参加回数

平均7.1回 (前回+1.9回 前年+0.8回)

#### ▶応募企業数

平均9.4社 (前回+6.0社 前年+2.2社)  
「0社」……………21.1% 「1～2社」……………20.2%  
「5～9社」……………17.5%

#### ▶エントリーシート・履歴書提出企業数

平均2.4社 (前回+0.2社 前年+0.5社)  
「0社」……………43.4% 「1～2社」……………27.2%  
「3～4社」……………12.6%

#### ▶面接選考企業数

平均2.5社 (前回+0.1社 前年±0社)  
「1社」……………36.5% 「4社以上」……………18.7%

#### ▶進捗感

「予定よりも進んでいる」……………12.7%  
「予定通り」……………34.4%  
「予定よりも進んでいない」……………52.9%  
「エントリー活動段階」学生の55.2%は「予定よりも進んでいない」

#### ▶1日の活動時間

「就職活動に費やす時間」平均4.2時間  
(前回+2.0時間 前年+0.5時間)  
「学業に費やす時間」平均2.6時間  
(前回-1.1時間 前年+0.1時間)

### 学生の意識

#### ▶自分のタイプ

「周りからの評価は高い方だ」……………75.3%  
「積極的に就職活動をしている」……………58.9%

#### ▶企業規模に対する志向

「大企業志向」……………49.2%  
「中小企業志向」……………29.8%  
「企業の規模は全く意識していない」……………21.0%

#### ▶企業に評価される自信のあるもの

1位「人柄・性格」……………47.2%  
2位「学生時代に行なったサークル・部活動」……………32.7%  
3位「アルバイト経験」……………31.8%

#### ▶3月1日を迎えての心境・行動

「『ついに就職活動が始まった!』と思う」……………69.0%  
「日付が変わると同時に就活ナビサイトにアクセス」……………65.1%

#### ▶キャリアアンカー

1位「個人的な活動、家族、仕事のバランスをうまくとりたい」  
年々増加傾向

#### ▶企業に公表してほしい情報

1位「過去3年間の新卒採用者数・離職者数」  
2位「前年度の月平均『所定外労働時間(残業時間)』の実績」  
3位「前年度の有給休暇の平均取得日数」

#### ▶新卒人材紹介サービスの利用状況

「認知率」前年比11.1ポイント増  
「利用率」前年比17.4ポイント増  
イメージは、「自分の希望に合った企業を紹介してくれる」  
「視野が広がる」「就活対策をしてくれる」  
利用経験のある学生の方がより肯定的

# I N D E X

---

● 調査概要	p. 4
1 就職活動の進捗状況	p. 5
2 就職活動の進捗感	p. 7
3 企業規模に対する志向	p. 8
4 自分のタイプ	p. 9
5 1日の活動時間	p.10
6 会社説明会参加回数	p.11
7 3月の説明会参加予定	p.12
8 応募企業数	p.13
9 エントリーシート・履歴書提出企業数	p.14
10 面接選考企業数	p.15
11 面接以降の段階に進んだ業種	p.16
12 現在選考中の企業数	p.17
13 企業への新たな応募予定 (3月)	p.18
14 3月1日を迎えての心境・行動	p.19
15 企業に評価される自信があるもの	p.20
16 キャリアアンカー	p.22
17 企業に公表してほしい情報	p.24
18 新卒人材紹介サービスの利用状況	p.25
19 新卒人材紹介サービスのイメージ	p.26

# 調査概要

## 調査目的

2017年3月1日時点における就職活動の準備・進捗状況等から、就職活動を行なう学生の実態を明らかにすること

## 調査対象

2018年3月卒業予定で、一般企業への就職を希望している大学3年生・大学院1年生の男女

## 調査方法

インターネット調査

## 調査期間

2017年3月1日～6日

## 有効回答

685名

「JOBASS 新卒」登録学生（355名）、株式会社クロス・マーケティングのアンケートモニター（330名）

※本調査は回答割合の表示において小数点以下第2位を四捨五入しているため、結果が100.0%にならない場合があります。

※「平均回答個数」とは、複数回答形式の設問において各回答者が回答した選択肢の個数の平均を示しています。

※本調査で言う「内定」には、「内々定」も含まれています。

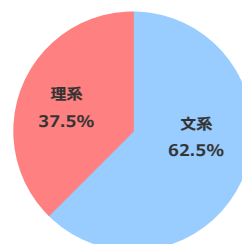
居住地域	回答数	(%)
北海道・東北地方	44	6.4
関東地方	296	43.2
北陸・甲信越地方	15	2.2
東海地方	38	5.5
近畿地方	239	34.9
中国地方	13	1.9
四国地方	6	0.9
九州地方	34	5.0
合計	685	100.0

専攻	回答数	(%)
文系	484	70.7
理系	201	29.3
合計	685	100.0

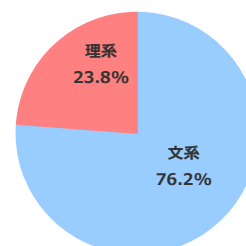
所属サークル	回答数	(%)
文化系	218	31.8
体育会系	157	22.9
イベント系	49	7.2
無所属	261	38.1
合計	685	100.0

性別	回答数	(%)
男性	277	40.4
女性	408	59.6
合計	685	100.0

男性



女性



# 就職活動の進捗状況

学生に、2017年3月1日時点の就職活動の〈主な活動〉について聞くと、「エントリー活動段階」と回答した学生が最も多く、58.7%となった(図1.1)。

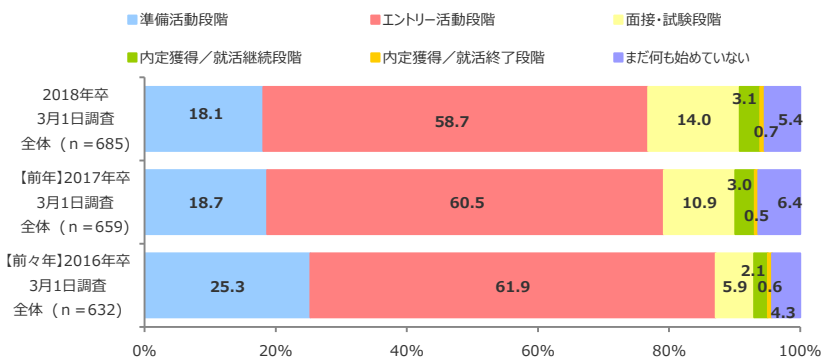
また、〈主な活動〉と〈最も選考が進んでいる企業の状況(※)〉を合わせて、実際にどのくらいの学生が就職活動の各活動ステータスに到達しているかを見た。「準備活動段階」は、調査対象の全学生のうち94.6%、「エントリー活動段階」81.0%、「面接・試験段階」33.6%、「内定獲得段階(“内定獲得/就活継続段階”と“内定獲得/就活終了段階”の計。以下“内定獲得率”)」4.5%となっている。

前年調査(「2017年3月卒業予定者の就職活動に関する調査 2016年3月1日状況」、以下同)や広報活動解禁が3月になった前々年調査(「2016年3月卒業予定者の就職活動に関する調査 2015年3月1日状況」、以下同)と比較すると、「エントリー活動段階」と「面接・試験段階」に進んでいる学生の割合は年々高くなっている(図1.2)。

各活動ステータスに到達した学生の割合を属性別にみると、「面接・試験段階」に到達した学生の割合は、女性よりも男性、理系よりも文系、就活取組姿勢別(「図4.2 自分のタイプ<就職活動取組姿勢>」参照、以下同)では、「積極的」な学生で高くなっている(表1)。

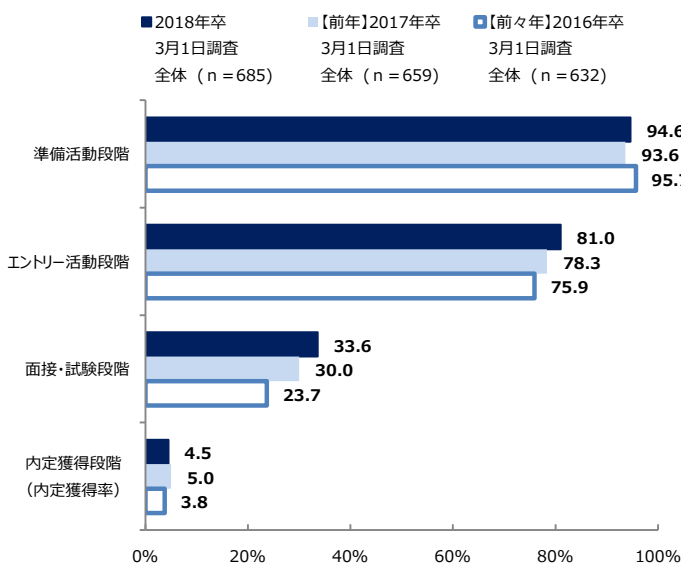
※ 最も選考が進んでいる企業の状況：〈主な活動〉において、「内定獲得/就活終了段階」または「まだ何も始めていない」以外を回答した学生(n=622)に聴取。「準備活動段階」15.0%、「エントリー活動段階」52.3%、「面接・試験段階」32.0%、「内定獲得/就活継続段階」0.8%となっている。

【図1.1】現在の就職活動のステータス：〈主な活動〉：前年調査、前々年調査との比較



- ◆準備活動段階  
就職活動の情報収集や就活ナビサイトへの登録、自己分析や業界研究など企業にエントリーする前の準備をし始めた段階
- ◆エントリー活動段階  
説明会やエントリーシート作成・提出など、企業にエントリー・応募し始めた段階
- ◆面接・試験段階  
面接や試験など、主に企業の選考を受けている段階
- ◆内定獲得/就活継続段階  
1社以上の内定を獲得したが、就活を継続している段階
- ◆内定獲得/就活終了段階  
1社以上の内定を獲得し、就活を終了した段階

【図1.2】各活動ステータスに到達した学生の割合：前年調査、前々年調査との比較



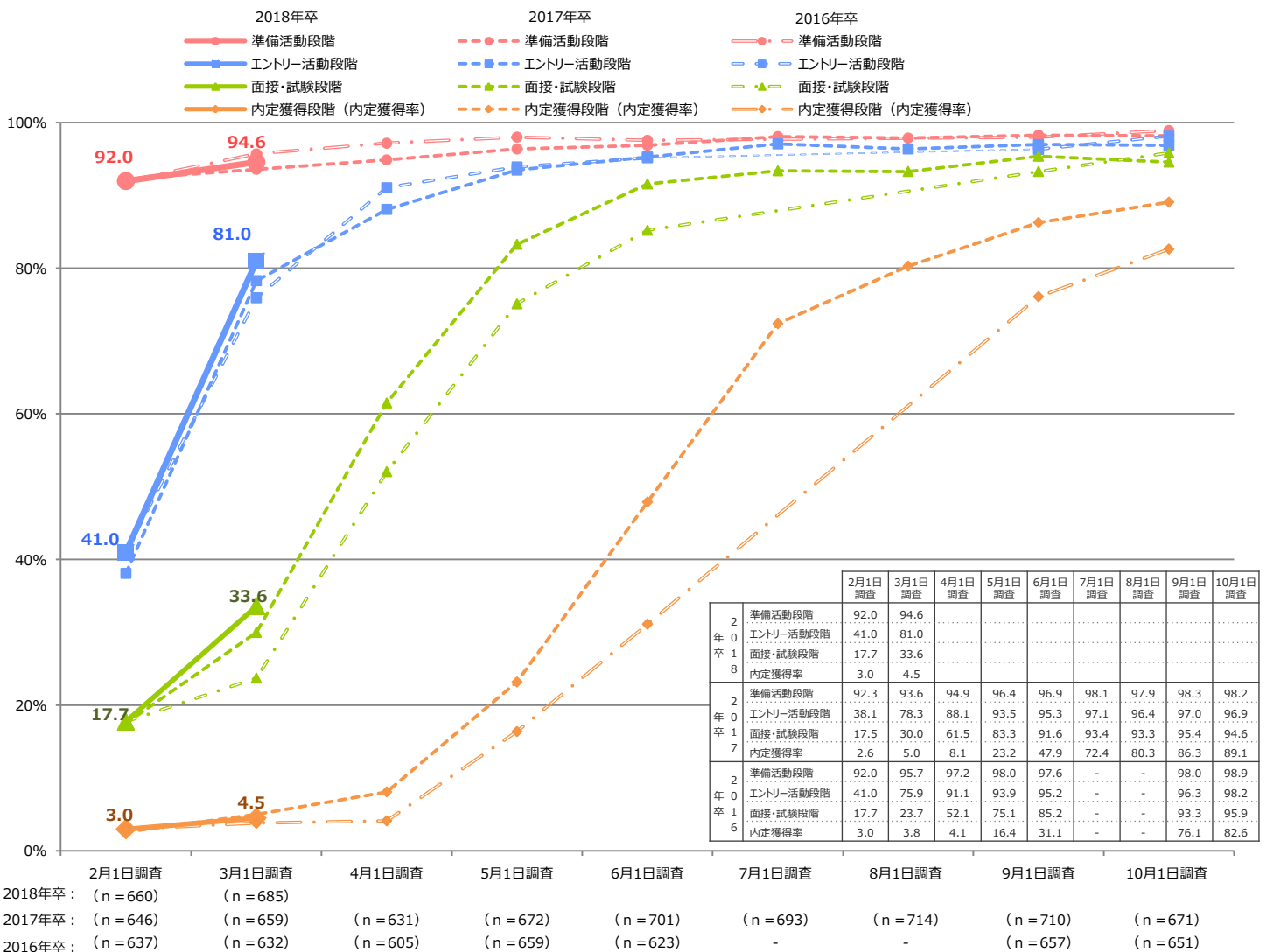
【表1】各活動ステータスに到達した学生の割合：属性別

	準備活動段階 (%)	エントリー活動段階 (%)	面接・試験段階 (%)	内定獲得段階 (内定獲得率) (%)
性別				
男性 (n=277)	92.8	79.8	34.7	5.8
女性 (n=408)	95.8	81.9	32.8	3.7
文理別				
文系 (n=484)	95.2	83.1	38.0	5.0
理系 (n=201)	93.0	76.1	22.9	3.5
就活取組姿勢別				
積極的 (n=404)	98.8	94.8	49.3	6.2
消極的 (n=281)	88.6	61.2	11.0	2.1

各活動ステータスに到達した学生の割合を、時系列で過去の調査と比較した。2月1日から3月1日にかけての増加幅は、「準備活動段階」2.6ポイント、「エントリー活動段階」40.0ポイント、「面接・試験段階」15.9ポイント、「内定獲得段階」1.5ポイントだった。3月1日を迎え、「エントリー活動段階」到達者が一気に増加している。

また、過去の調査と比較すると、「面接・試験段階」到達者の割合は、前年調査、前々年調査よりも増加幅が大きい。このことから、2018年卒学生の就職活動が例年よりも早いペースで進むことが予想される（図1.3）。

【図1.3】 各活動ステータスに到達した学生の割合：時系列、前年調査、前々年調査との比較



# 就職活動の進捗感

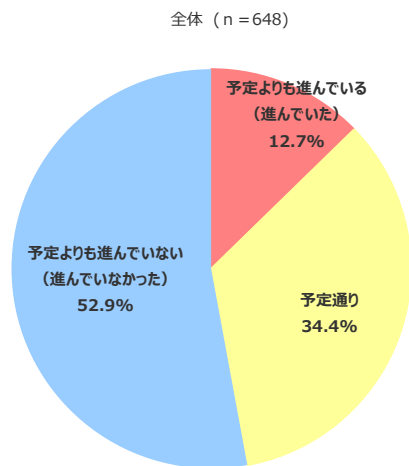
「1 就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」以外の回答をした学生に、3月1日までにこなしてきた就職活動やその準備・対策を振り返り、どのように感じているか（就職活動を終了している学生は、終了時期が予定に比べてどうだったか）を聞いた。「予定よりも進んでいない（進んでいなかった）」が最も多く52.9%、「予定通り」34.4%、「予定よりも進んでいる（進んでいた）」12.7%の順となった（図2.1）。

過去の調査と比較すると、年々「予定よりも進んでいる（進んでいた）」と回答する学生の割合が増加し、「予定よりも進んでいない（進んでいなかった）」学生の割合は減少傾向にある（図2.2）。

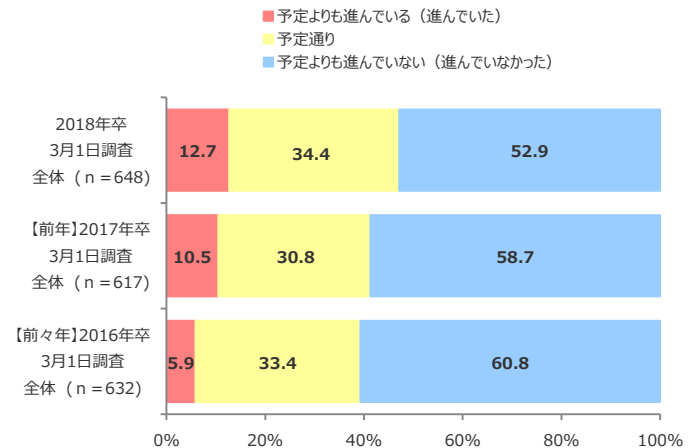
男女別に見ると、男性は女性よりも「予定よりも進んでいる（進んでいた）」「予定通り」の割合が高く、順調に感じている者が多いようだ（図2.3）。

主な活動ステータス別（「図1.1 現在の就職活動のステータス：＜主な活動＞」参照、以下同）に見ると、3月1日時点で特段遅い進捗とは思われない「エントリー活動段階」の学生でも、55.2%は「予定よりも進んでいない（進んでいなかった）」と感じており、早期からの活動が一般化してきていることがうかがえる（図2.4）。

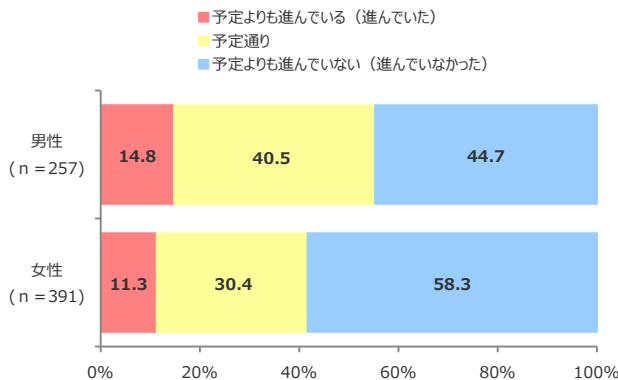
【図2.1】現在までに行なってきた就職活動やその準備・対策を振り返り、どのように感じているか



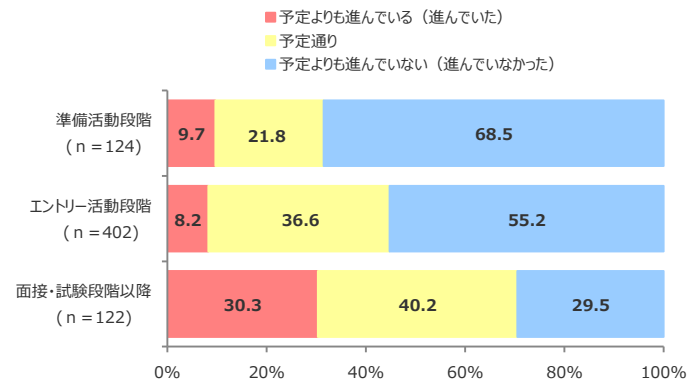
【図2.2】現在までに行なってきた就職活動やその準備・対策を振り返り、どのように感じているか  
：前年調査、前々年調査との比較



【図2.3】現在までに行なってきた就職活動やその準備・対策を振り返り、どのように感じているか  
：男女別



【図2.4】現在までに行なってきた就職活動やその準備・対策を振り返り、どのように感じているか  
：主な活動ステータス別



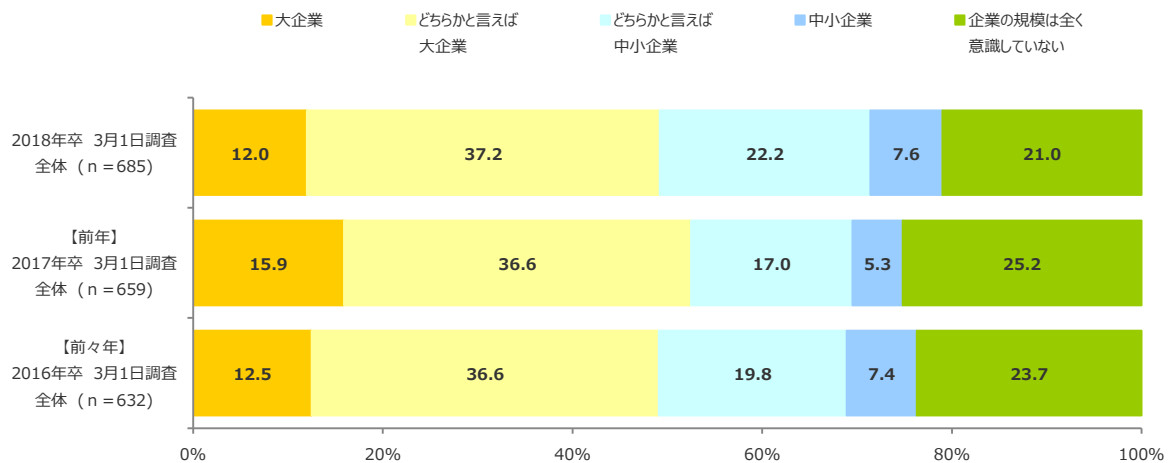
# 企業規模に対する志向

学生に、就職活動を行なうにあたり、大企業と中小企業のどちらを志望する気持ちが強いかを聞くと、「大企業」「どちらかと言えば大企業」を合わせた回答（以下、大企業志向）が49.2%に上った。「中小企業」と「どちらかと言えば中小企業」を合わせた回答（以下、中小企業志向）は29.8%、「企業の規模は全く意識していない」学生は21.0%だった。過去の調査と比較すると、中小企業志向の学生の割合がやや高くなっている（図3.1）。

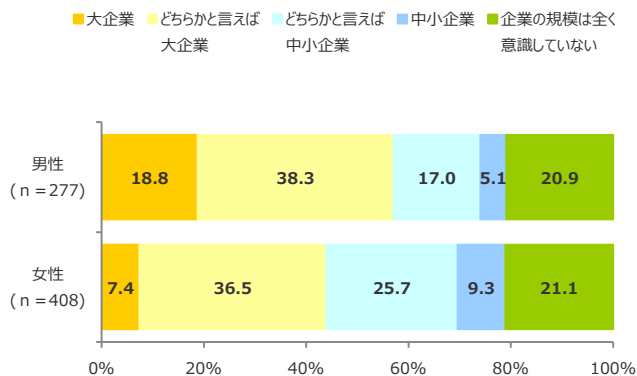
男女別で見ると、「企業の規模は全く意識していない」学生の割合は男女とも同程度だが、男性は「大企業志向」の割合が57.1%と、女性（43.9%）よりも13.2ポイント高い。半面、女性は男性よりも「中小企業志向」の割合が12.9ポイント高くなっていた（図3.2）。

文理別で見ると、「企業の規模は全く意識していない」学生の割合は文系と理系で同程度だった。半面、文系は理系よりも「中小企業志向」の割合が、理系は文系よりも「大企業志向」の割合がそれぞれ高くなっている（図3.3）。

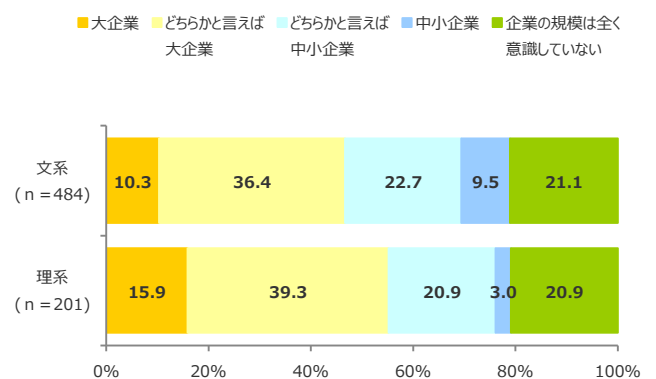
【図3.1】 企業規模に対する志向：前年調査、前々年調査との比較



【図3.2】 企業規模に対する志向：男女別



【図3.3】 企業規模に対する志向：文理別





# 自分のタイプ

学生に、「周りからの評価の高さ」と「就職活動の取組姿勢」に関し、自分のタイプに近いものを聞いた。

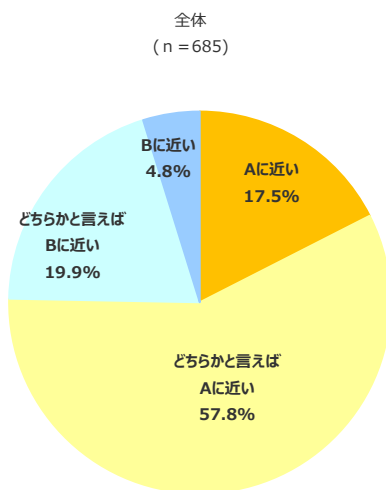
「周りからの評価の高さ」に関し、A「周りからの評価は高い方だ」とB「周りからの評価は低い方だ」のどちらに近いかを聞いた。結果は、周りからの評価が高い（「Aに近い」と「どちらかと言えばAに近い」の合計、以下同）と感じている学生が75.3%、周りからの評価が低い（「Bに近い」と「どちらかと言えばBに近い」の合計、以下同）と感じている学生は24.7%だった（図4.1）。属性別に見ると、男女で大きな差はないが、文理別では理系よりも文系で、企業規模に対する志向別では「大企業志向」の学生で、周りからの評価が高いと自信を持っている学生の割合が高いようだ（表4.1）。

「就職活動の取組姿勢」に関し、A「積極的に就職活動をしている」とB「あまり積極的に就職活動をしていない」のどちらに近いかを聞くと、「Aに近い」18.2%、「どちらかと言えばAに近い」40.7%となり、就職活動の取組姿勢が積極的（「Aに近い」と「どちらかと言えばAに近い」の合計、以下同）な学生の方が多かった（図4.2）。

属性別に見ると、「企業の規模は全く意識していない」学生では、就職活動の取組姿勢が消極的（「Bに近い」と「どちらかと言えばBに近い」の合計、以下同）な学生が半数を超え、他の学生よりも高い割合となっている（表4.2）。

## A.周りからの評価は高い方だ ⇔ B.周りからの評価は低い方だ

【図4.1】自分のタイプ<周りからの評価の高さ>

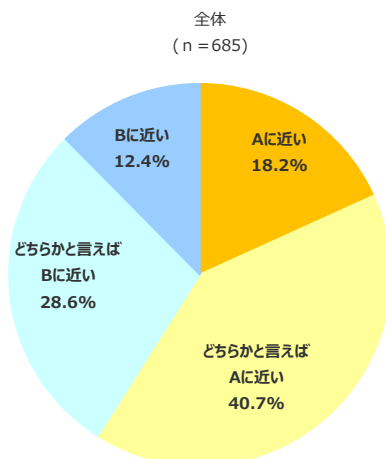


【表4.1】自分のタイプ<周りからの評価の高さ>：属性別

		Aに近い (%)	Aに近い か と (%)	Bに近い か と (%)	Bに近い (%)
全体 (n = 685)		17.5	57.8	19.9	4.8
男女別	男性 (n = 277)	19.9	54.5	19.5	6.1
	女性 (n = 408)	15.9	60.0	20.1	3.9
文理別	文系 (n = 484)	18.2	58.9	18.6	4.3
	理系 (n = 201)	15.9	55.2	22.9	6.0
対する 志向別	大企業志向 (n = 337)	21.1	59.6	15.7	3.6
	中小企業志向 (n = 204)	14.7	58.3	23.5	3.4
	企業の規模は全く意識していない (n = 144)	13.2	52.8	24.3	9.7

## A.積極的に就職活動をしている ⇔ B.あまり積極的に就職活動をしていない

【図4.2】自分のタイプ<就職活動取組姿勢>



【表4.2】自分のタイプ<就職活動取組姿勢>：属性別

		Aに近い (%)	Aに近い か と (%)	Bに近い か と (%)	Bに近い (%)
全体 (n = 685)		18.2	40.7	28.6	12.4
男女別	男性 (n = 277)	20.2	39.4	27.4	13.0
	女性 (n = 408)	16.9	41.7	29.4	12.0
文理別	文系 (n = 484)	18.8	42.1	27.5	11.6
	理系 (n = 201)	16.9	37.3	31.3	14.4
対する 志向別	大企業志向 (n = 337)	22.8	45.1	22.6	9.5
	中小企業志向 (n = 204)	14.7	36.8	36.8	11.8
	企業の規模は全く意識していない (n = 144)	12.5	36.1	31.3	20.1

# 1日の活動時間

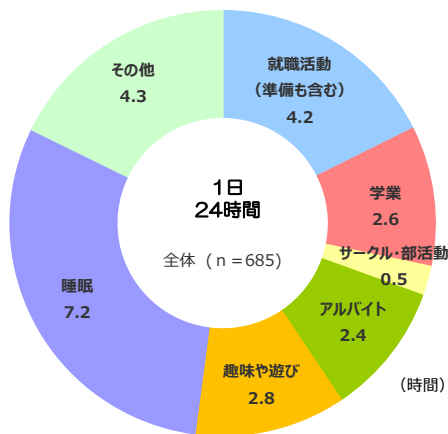
学生に、現在、1日のうち「就職活動（準備も含む）」「学業」「サークル・部活動」「アルバイト」「趣味や遊び」「睡眠」にどのくらいの時間を費やしているかを聞き、平均化した。結果は、「就職活動（準備も含む）」4.2時間、「学業」2.6時間、「サークル・部活動」0.5時間、「アルバイト」2.4時間、「趣味や遊び」2.8時間、「睡眠」7.2時間となった（図5.1）。

文理別に見ると、理系は「学業」に費やす時間が4.2時間と突出して多く、文系の1.8時間より2.4時間多い。そのためか、「就職活動（準備も含む）」に費やす時間は文系よりも1.0時間少なくなっている。

就活取組姿勢別で見ると、就職活動に「積極的」な学生は、「就職活動（準備も含む）」に費やす時間が5.1時間となり、「消極的」な学生よりも2.0時間多い。その分、「学業」「趣味や遊び」に費やす時間は、「消極的」な学生に比べそれぞれ0.9時間、0.7時間少なくなっており、就職活動の時間に充てていることがわかる（表5）。

前回調査（「2018年3月卒業予定者の就職活動に関する調査 2017年2月1日状況」、以下同）から、「就職活動（準備も含む）」に費やす時間はひと月でほぼ倍増した。また、前年調査、前々年調査と比較すると、「就職活動（準備も含む）」に費やす時間は年々増加傾向にある（図5.2）。

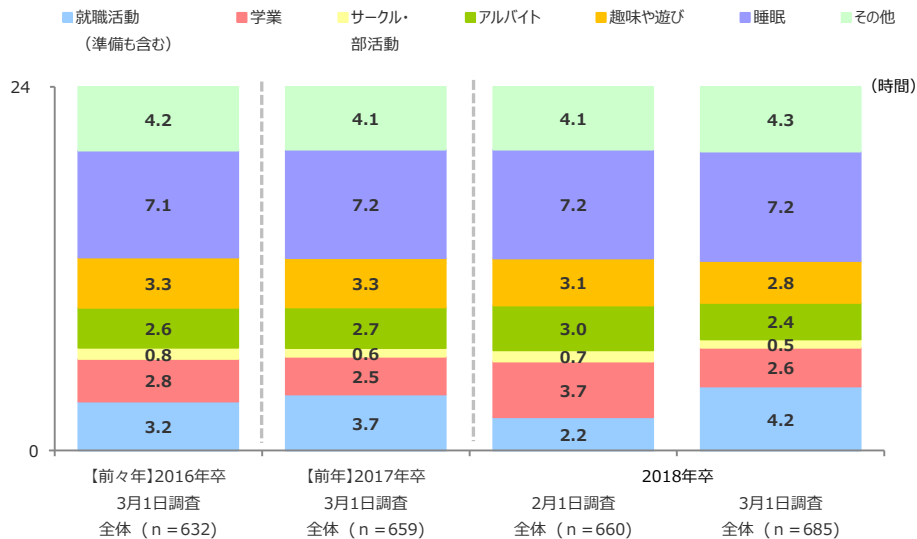
【図5.1】1日の活動時間／平均



【表5】1日の活動時間／平均：属性別

		(準備も含む)	学業	サークル・部活動	アルバイト	趣味や遊び	睡眠	その他
全体 (n=685)		4.2	2.6	0.5	2.4	2.8	7.2	4.3
男女別	男性 (n=277)	4.0	2.9	0.7	2.3	2.6	7.3	4.4
	女性 (n=408)	4.4	2.3	0.5	2.5	2.9	7.2	4.2
文理別	文系 (n=484)	4.5	1.8	0.6	2.6	2.9	7.3	4.3
	理系 (n=201)	3.5	4.2	0.5	2.0	2.5	7.2	4.1
就活取組姿勢別	積極的 (n=404)	5.1	2.2	0.6	2.3	2.5	7.2	4.3
	消極的 (n=281)	3.1	3.1	0.5	2.6	3.2	7.4	4.3

【図5.2】1日の活動時間／平均：時系列、前年調査、前々年調査との比較



# 会社説明会参加回数

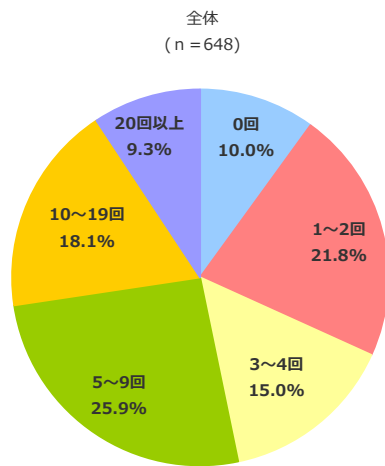
「1 就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」以外の回答をした学生に対し、3月1日までに参加した会社説明会の回数を聞いた。結果は、多い順に「5～9回」25.9%、「1～2回」21.8%、「10～19回」18.1%となっている（図6.1）。

平均参加回数は7.1回となっており、前年調査の平均6.3回よりも多い（表6）。

属性別に見ると、男女では差はないが、文理別では理系よりも文系で平均参加回数が多い。また、企業規模に対する志向別では、「大企業志向」の学生で他の学生よりも平均参加回数が増えている。また、就活取組姿勢別では、「積極的」な学生が平均9.5回なのに対し、「消極的」な学生は平均3.3回となっており、約3倍の差が生じている（表6）。

時系列で見ると、前回調査の平均5.2回から1.9回の増加となっている（図6.2）。

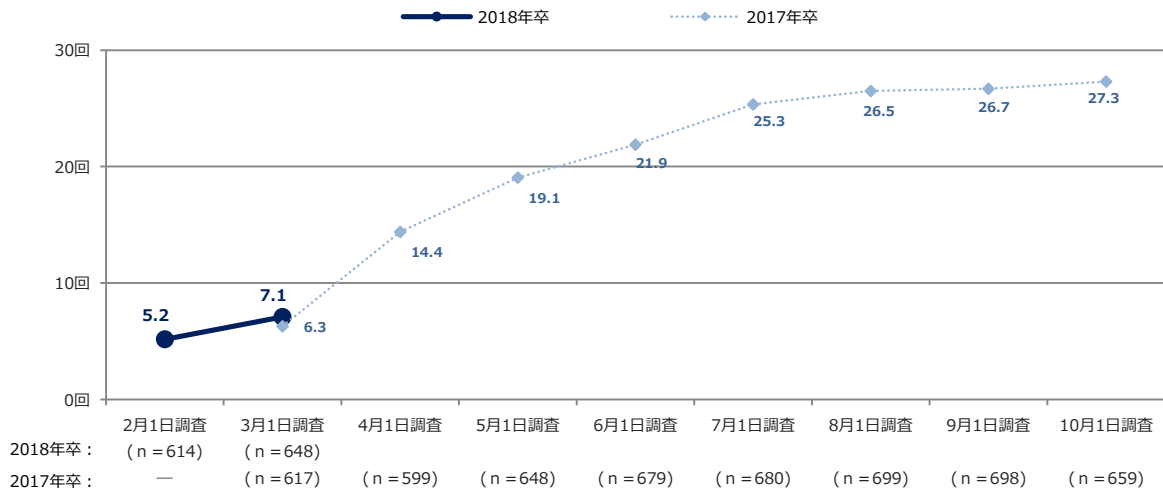
【図6.1】会社説明会参加回数



【表6】会社説明会参加回数：属性別

		0回	1～2回	3～4回	5～9回	10～19回	20回以上	平均
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(回)
2018年卒 3月1日調査 全体 (n=648)		10.0	21.8	15.0	25.9	18.1	9.3	7.1
【前年】2017年卒 3月1日調査 全体 (n=617)		10.7	23.8	17.8	25.1	16.0	6.5	6.3
男女別	男性 (n=257)	9.3	20.2	14.0	28.0	19.8	8.6	7.1
	女性 (n=391)	10.5	22.8	15.6	24.6	16.9	9.7	7.1
文理別	文系 (n=461)	9.3	19.3	14.5	26.5	20.2	10.2	7.6
	理系 (n=187)	11.8	27.8	16.0	24.6	12.8	7.0	5.9
対する企業規模に	大企業志向 (n=329)	6.1	20.1	14.6	29.2	19.8	10.3	7.5
	中小企業志向 (n=196)	12.8	26.0	16.3	21.9	14.3	8.7	6.8
	企業の規模は全く意識していない (n=123)	16.3	19.5	13.8	23.6	19.5	7.3	6.5
就活取組姿勢別	積極的 (n=399)	3.5	14.3	13.0	30.8	24.1	14.3	9.5
	消極的 (n=249)	20.5	33.7	18.1	18.1	8.4	1.2	3.3

【図6.2】会社説明会参加回数／平均：時系列、前年調査との比較



# 3月の説明会参加予定

「1 就職活動の進捗状況」において、「内定獲得／就活終了段階」以外の回答をした学生に、“合同企業説明会（就活関連会社や学校主催のもの）”や“各企業の会社説明会”に参加する予定があるかを聞いた。

“各企業の会社説明会・セミナー”は、「参加予定あり」の学生が85.1%だった（図7.1）。

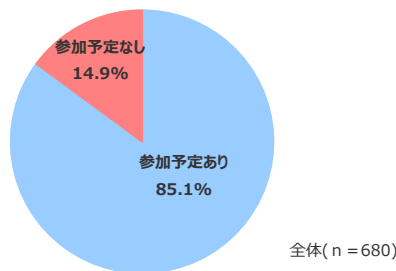
“就活関連会社やイベント会社主催の合同企業説明会等”は、「参加予定あり」が75.7%だった（図7.2）。

“学校主催の合同企業説明会等”は、「参加予定あり」の学生は71.6%だった（図7.3）。

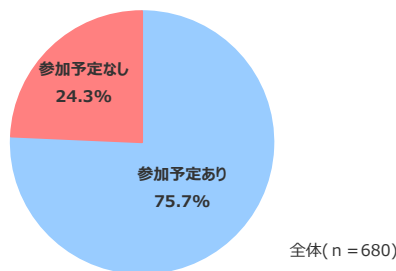
各会社説明会に「参加予定あり」の学生の割合を前年調査と比較すると、いずれも前年よりも高くなっており、積極的に参加している様子がうかがえる。

属性別に見ると、企業規模に対する志向が「大企業志向」の学生は、各会社説明会に「参加あり」の割合が他の学生よりも高くなっていった（表7）。

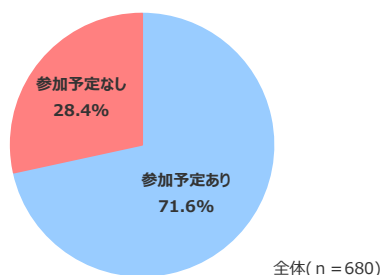
【図7.1】説明会等の参加予定の有無  
／各企業の会社説明会・セミナー



【図7.2】説明会等の参加予定の有無  
／就活関連会社やイベント会社主催の合同企業説明会等



【図7.3】説明会等の参加予定の有無  
／学校主催の合同企業説明会等



【表7】各会社説明会などに参加予定がある学生の割合  
：属性別

		各企業の会社説明会・セミナー	就活関連会社やイベント説明会等	学校主催の合同企業説明会等
		(%)	(%)	(%)
<b>2018年卒 3月1日調査 全体 (n = 680)</b>		<b>85.1</b>	<b>75.7</b>	<b>71.6</b>
【前年】2017年卒 3月1日調査 全体 (n = 656)		76.1	63.9	66.9
男女別	男性 (n = 275)	84.4	73.8	74.5
	女性 (n = 405)	85.7	77.0	69.6
文理別	文系 (n = 481)	85.9	77.3	70.7
	理系 (n = 199)	83.4	71.9	73.9
対する志向別	大企業志向 (n = 336)	92.9	80.4	81.3
	中小企業志向 (n = 202)	83.2	78.7	65.8
	企業の規模は全く意識していない (n = 142)	69.7	60.6	57.0
ステップ別	準備活動段階 (n = 124)	68.5	69.4	65.3
	エントリー活動段階 (n = 402)	93.8	83.1	78.4
	面接・試験段階以降 (n = 117)	93.2	74.4	72.6
	まだ何も始めていない (n = 37)	21.6	21.6	16.2

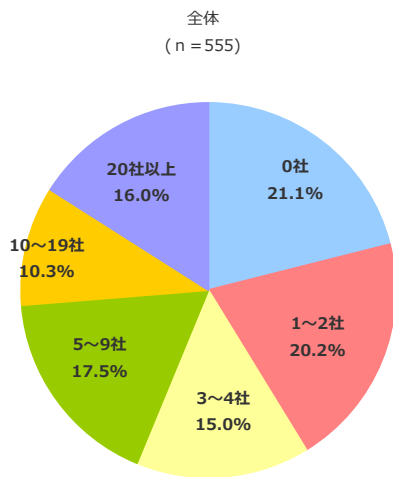
# 応募企業数

「1 就職活動の進捗状況」において、就職活動が「エントリー活動段階」以降に進んでいる学生に対し、3月1日までに選考に応募した企業数を聞いた。「0社」と回答した学生は21.1%に留まり、約8割の学生が1社以上の企業に応募している（図8.1）。

応募企業数の平均は9.4社だった。属性別に見ると、男性よりも女性、理系よりも文系で平均応募企業数が多い。また、企業規模に対する志向別では「大企業志向」の学生が、就活取組姿勢別では「積極的」な学生が、平均応募企業数が多くなっていた（表8）。

時系列で見ると、前回調査の平均3.4社から9.4社へ6.0社の増加となっている。また2月1日から3月1日までの1カ月の増加幅は、前年よりも大きくなっていた（図8.2）。

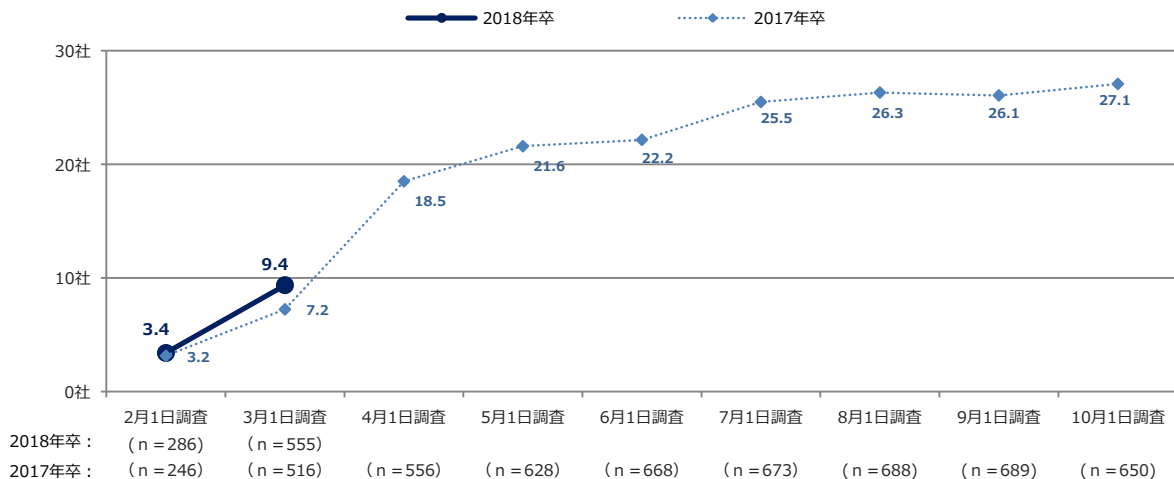
【図8.1】選考に応募した企業数



【表8】選考に応募した企業数：属性別

	n=30以上で 全体+10pt以上 全体+5pt以上 全体-5pt以下 全体-10pt以下	0社	1社	3社	5社	10社以上	平均
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(社)
<b>2018年卒 3月1日調査 全体 (n=555)</b>		<b>21.1</b>	<b>20.2</b>	<b>15.0</b>	<b>17.5</b>	<b>10.3</b>	<b>9.4</b>
【前年】2017年卒 3月1日調査 全体 (n=516)		25.4	25.2	12.8	16.1	8.9	7.2
【前々年】2016年卒 3月1日調査 全体 (n=480)		19.4	25.8	14.4	14.2	10.8	8.1
性別	男性 (n=221)	22.2	21.7	15.8	17.6	10.4	7.1
	女性 (n=334)	20.4	19.2	14.4	17.4	10.2	10.9
文理別	文系 (n=402)	18.2	20.4	15.9	17.2	10.2	10.1
	理系 (n=153)	28.8	19.6	12.4	18.3	10.5	7.5
対する企業規模に	大企業志向 (n=291)	17.9	19.2	16.2	17.2	11.0	11.1
	中小企業志向 (n=165)	24.2	20.0	11.5	22.4	10.9	7.0
	企業の規模は全く意識していない (n=99)	25.3	23.2	17.2	10.1	7.1	8.3
就活取組姿勢別	積極的 (n=383)	13.6	20.4	18.3	19.3	10.2	10.7
	消極的 (n=172)	37.8	19.8	7.6	13.4	10.5	6.3

【図8.2】選考に応募した企業数／平均：時系列、前年調査との比較



# エントリーシート・履歴書提出企業数

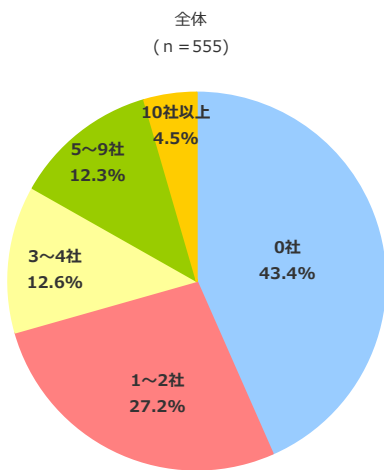
「1 就職活動の進捗状況」において、就職活動が「エントリー活動段階」以降に進んでいる学生に対し、3月1日までにエントリーシートや履歴書を提出した企業数を聞いた。結果は、「0社」と回答した学生が最も多く、43.4%だった。次点は、「1～2社」で27.2%となっている（図9.1）。

エントリーシート・履歴書提出企業数の平均は2.4社だった。

属性別に見ると、男女で差はないが、文理別では文系よりも理系が、企業規模に対する志向別では「大企業志向」の学生が、就活取組姿勢別では「積極的」な学生で平均社数が多くなっている（表9）。

時系列で見ると、前回調査の平均2.2社から0.2社増加していた（図9.2）。

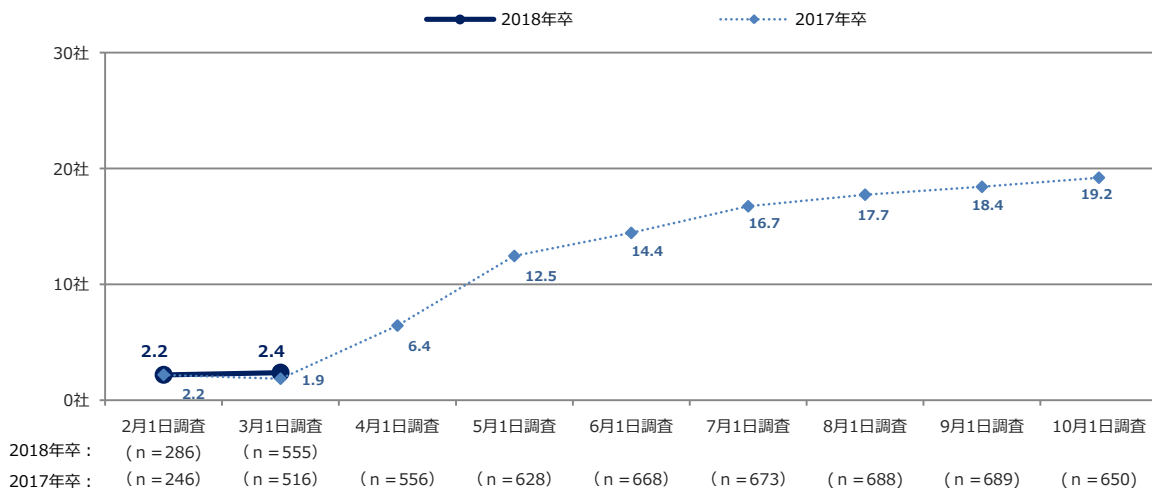
【図9.1】エントリーシート・履歴書提出企業数



【表9】エントリーシート・履歴書提出企業数：属性別

		0社	1～2社	3～4社	5～9社	10社以上	平均
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(社)
n=30以上で							
全体+10pt以上							
全体+5pt以上							
全体-5pt以下							
全体-10pt以下							
<b>2018年卒 3月1日調査 全体 (n=555)</b>		<b>43.4</b>	<b>27.2</b>	<b>12.6</b>	<b>12.3</b>	<b>4.5</b>	<b>2.4</b>
【前年】2017年卒 3月1日調査 全体 (n=516)		45.7	30.6	10.9	9.1	3.7	1.9
【前々年】2016年卒 3月1日調査 全体 (n=480)		43.8	34.2	11.0	6.7	4.4	1.9
男女別	男性 (n=221)	39.4	29.4	11.3	15.4	4.5	2.4
	女性 (n=334)	46.1	25.7	13.5	10.2	4.5	2.4
文理別	文系 (n=402)	40.8	27.6	14.2	13.2	4.2	2.3
	理系 (n=153)	50.3	26.1	8.5	9.8	5.2	2.7
対する企業規模に	大企業志向 (n=291)	39.2	28.5	14.8	12.7	4.8	2.7
	中小企業志向 (n=165)	48.5	23.0	9.7	14.5	4.2	2.1
	企業の規模は全く意識していない (n=99)	47.5	30.3	11.1	7.1	4.0	2.0
就活取組姿勢別	積極的 (n=383)	33.2	30.3	15.7	15.4	5.5	2.9
	消極的 (n=172)	66.3	20.3	5.8	5.2	2.3	1.2

【図9.2】エントリーシート・履歴書提出企業数/平均：時系列、前年調査との比較



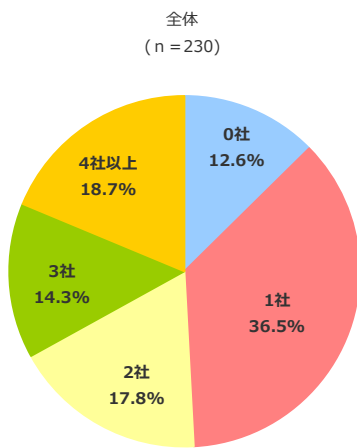
# 面接選考企業数

「1 就職活動の進捗状況」において、就職活動が「面接・試験段階」以降に進んでいる学生に対し、3月1日までに面接の選考（グループワークやグループディスカッションも含む）を受けた企業数を聞いた。結果は、「1社」と回答した学生が最も多く、36.5%だった（図10.1）。

平均社数は2.5社だった。属性別に見ると、男女別では女性よりも男性、文理別では文系よりも理系、企業規模に対する志向別では「中小企業志向」の学生で平均社数が多くなっている（表10）。

時系列で見ると、前回調査の平均2.4社から0.1社の増加に留まった。また、前年調査も平均2.5社となっており、同値となっている。応募企業数やエントリーシート・履歴書提出企業数は、前年よりも平均社数が多く、早期から動き出している様子がうかがえたが、面接選考企業数は前年と同水準となっており、現時点では例年と大きな変化はないようだ（図10.2）。

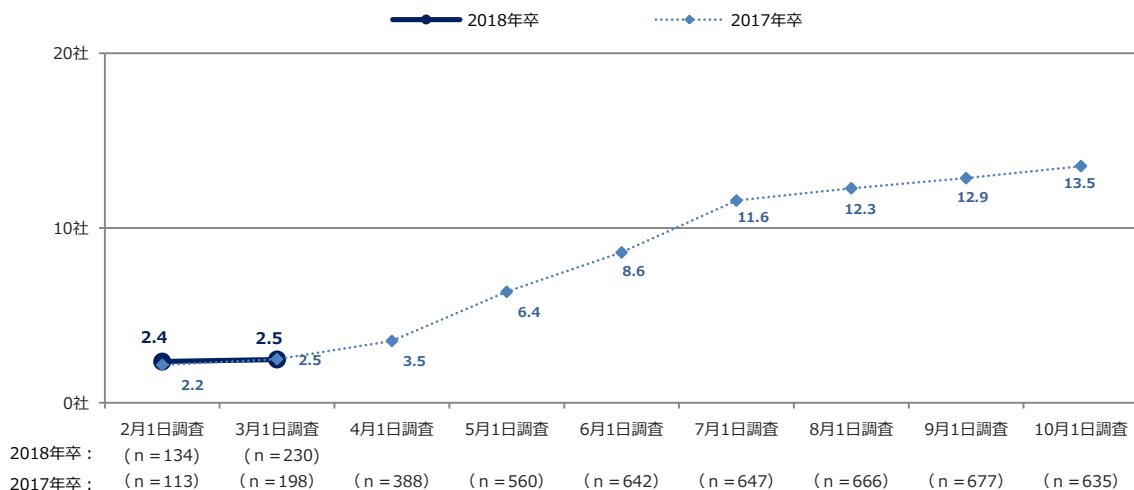
【図10.1】面接選考企業数



【表10】面接選考企業数：属性別

		0社	1社	2社	3社	4社以上	平均
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(社)
<b>2018年卒 3月1日調査 全体 (n=230)</b>		12.6	36.5	17.8	14.3	18.7	2.5
【前年】2017年卒 3月1日調査 全体 (n=198)		15.7	32.8	16.7	14.1	20.7	2.5
【前々年】2016年卒 3月1日調査 全体 (n=150)		10.7	38.0	17.3	15.3	18.7	2.6
男女別	男性 (n=96)	12.5	36.5	15.6	12.5	22.9	2.6
	女性 (n=134)	12.7	36.6	19.4	15.7	15.7	2.4
文理別	文系 (n=184)	12.5	37.0	16.8	14.7	19.0	2.4
	理系 (n=46)	13.0	34.8	21.7	13.0	17.4	2.9
対する志向別	大企業志向 (n=125)	8.8	38.4	19.2	15.2	18.4	2.2
	中小企業志向 (n=60)	16.7	38.3	13.3	13.3	18.3	3.0
	企業の規模は全く意識していない (n=45)	17.8	28.9	20.0	13.3	20.0	2.6

【図10.2】面接選考企業数／平均：時系列、前年調査との比較

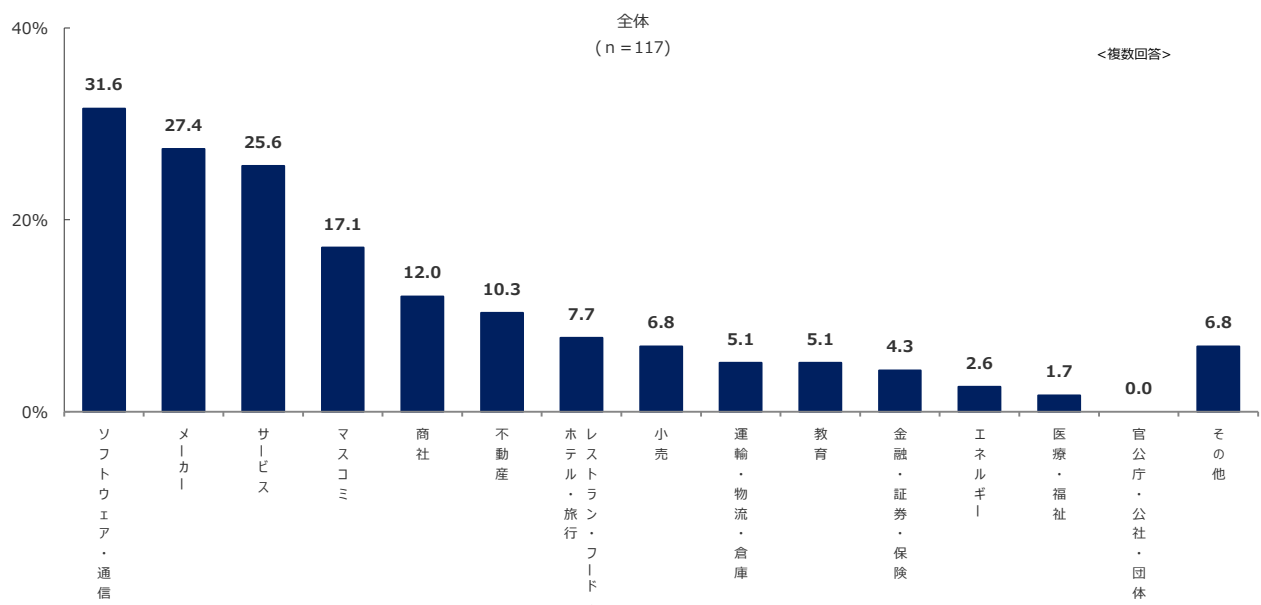


# 面接以降の段階に進んだ業種

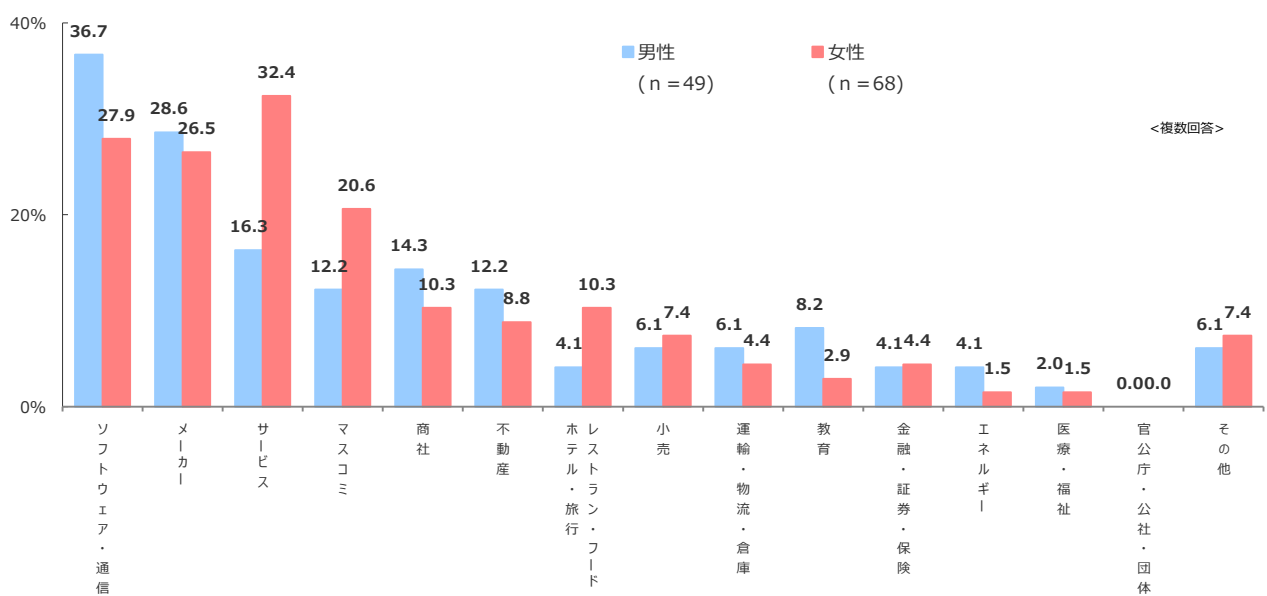
「10 面接選考企業数」において面接選考を1社以上受けた学生に、その企業の業種を聞いた。回答が多かった順に「ソフトウェア・通信」31.6%、「メーカー」27.4%、「サービス」25.6%となった（図11.1）。

男女別で見ると、女性は「サービス」「ソフトウェア・通信」「メーカー」の順に、男性は「ソフトウェア・通信」「メーカー」「サービス」の順となっている（図11.2）。

【図11.1】 面接以降の段階に進んだ企業の業種はどこか



【図11.2】 面接以降の段階に進んだ企業の業種はどこか：男女別





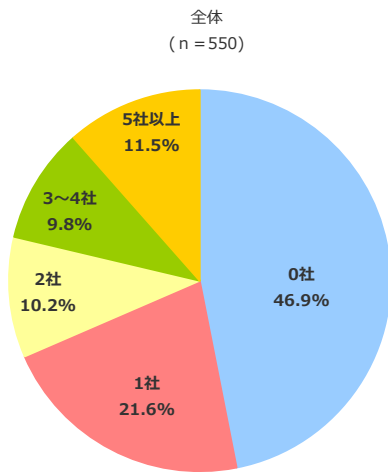
# 現在選考中の企業数

「1 就職活動の進捗状況」において、就職活動が「エントリー活動段階」以降に進んでおり、就職活動を継続している学生に対し、3月1日時点で「選考中」（応募はしているが、選考途中で最終的な結果が出ていない状態）の企業数を聞いた。結果は、「0社」と回答した学生が最も多く、46.9%となった。以降は、「1社」21.6%、「5社以上」11.5%と続く（図12.1）。

平均は2.4社となっており、属性別で見ると、男性よりも女性、理系よりも文系で平均社数が多い。また、企業規模に対する志向別では「大企業志向」の学生が、就活取組姿勢別では「積極的」な学生で平均社数が多くなっている（表12）。

時系列で見ると、前回調査の平均1.3社から1.1社の増加となった。また、前年調査では平均2.5社となっており、概ね同値となっている（図12.2）。

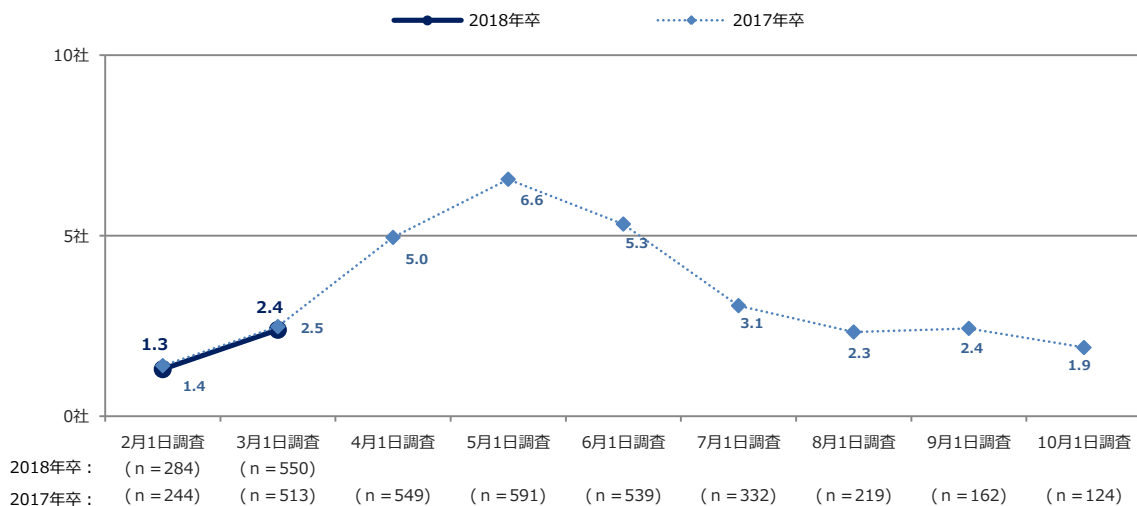
【図12.1】現在選考中の企業数



【表12】現在選考中の企業数：属性別

		0社	1社	2社	3~4社	5社以上	平均
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(社)
<b>2018年卒 3月1日調査 全体 (n=550)</b>		<b>46.9</b>	<b>21.6</b>	<b>10.2</b>	<b>9.8</b>	<b>11.5</b>	<b>2.4</b>
【前年】2017年卒 3月1日調査 全体 (n=513)		48.9	21.8	11.7	7.6	9.9	2.5
男女別	男性 (n=219)	45.2	23.3	9.6	9.6	12.3	1.9
	女性 (n=331)	48.0	20.5	10.6	10.0	10.9	2.7
文理別	文系 (n=399)	44.1	23.1	11.8	10.3	10.8	2.6
	理系 (n=151)	54.3	17.9	6.0	8.6	13.2	2.0
対する志向別	大企業志向 (n=290)	43.8	22.8	11.7	11.4	10.3	2.7
	中小企業志向 (n=163)	51.5	20.2	8.6	5.5	14.1	2.0
	企業の規模は全く意識していない (n=97)	48.5	20.6	8.2	12.4	10.3	2.3
就活取組姿勢別	積極的 (n=379)	38.0	26.1	12.1	12.1	11.6	2.6
	消極的 (n=171)	66.7	11.7	5.8	4.7	11.1	1.9

【図12.2】現在選考中の企業数／平均：時系列、前年調査との比較



# 企業への新たな応募予定（3月）

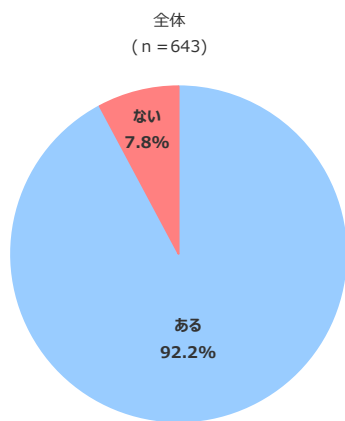
「1 就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」または「内定獲得/就活終了段階」を回答した学生を除いて、3月の就職活動において新たに企業に応募する予定があるかを聞いたところ、「ある」と回答した学生が92.2%となった（図13.1）。

属性別に見ると、就活取組姿勢が「積極的」な学生は「消極的」な学生よりも「ある」と回答した割合が高い（表13.1）。

また、新たに企業に応募すると回答した学生に対し、今まで「興味がなかった業界」や「興味がなかった職種」にも応募するかを聞いた。「応募する」と回答した学生の割合は、「業界」では62.9%、「職種」では56.2%となった。新たな企業に目を向ける際には、「職種」よりも「業界」の視野を広げる学生の方が多いようだ（図13.2）。

属性別に見ると、理系は文系よりも興味がなかった「業界」または「職種」に「応募する」と回答した割合が低く、こだわりが強い傾向がある。また、主な活動ステータス別では、興味がなかった「業界」に「応募する」とした割合は、「エントリー活動段階」の学生が、「準備活動段階」「面接・試験段階以降」の学生よりも高くなっていた（表13.2）。

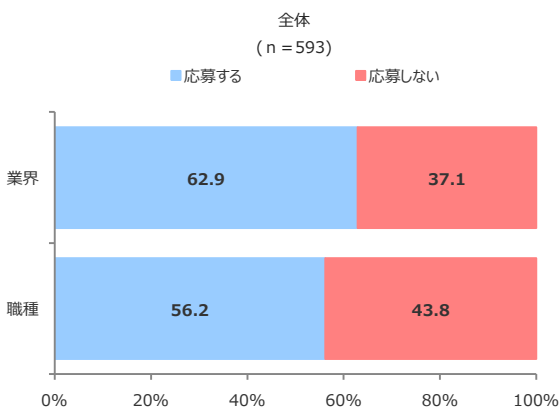
【図13.1】 今月、新たに企業に応募する予定はあるか



【表13.1】 今月、新たに企業に応募する予定はあるか：属性別

		ある (%)	ない (%)
<b>2018年卒 3月1日調査 全体 (n=643)</b>		<b>92.2</b>	<b>7.8</b>
【前年】2017年卒 3月1日調査 全体 (n=614)		89.6	10.4
男女別	男性 (n=255)	92.5	7.5
	女性 (n=388)	92.0	8.0
就活取組姿勢別	積極的 (n=395)	95.9	4.1
	消極的 (n=248)	86.3	13.7
主な活動ステータス別	準備活動段階 (n=124)	77.4	22.6
	エントリー活動段階 (n=402)	95.5	4.5
	面接・試験段階以降 (n=117)	96.6	3.4

【図13.2】 今まで興味がなかった「業界」「職種」にも応募するか



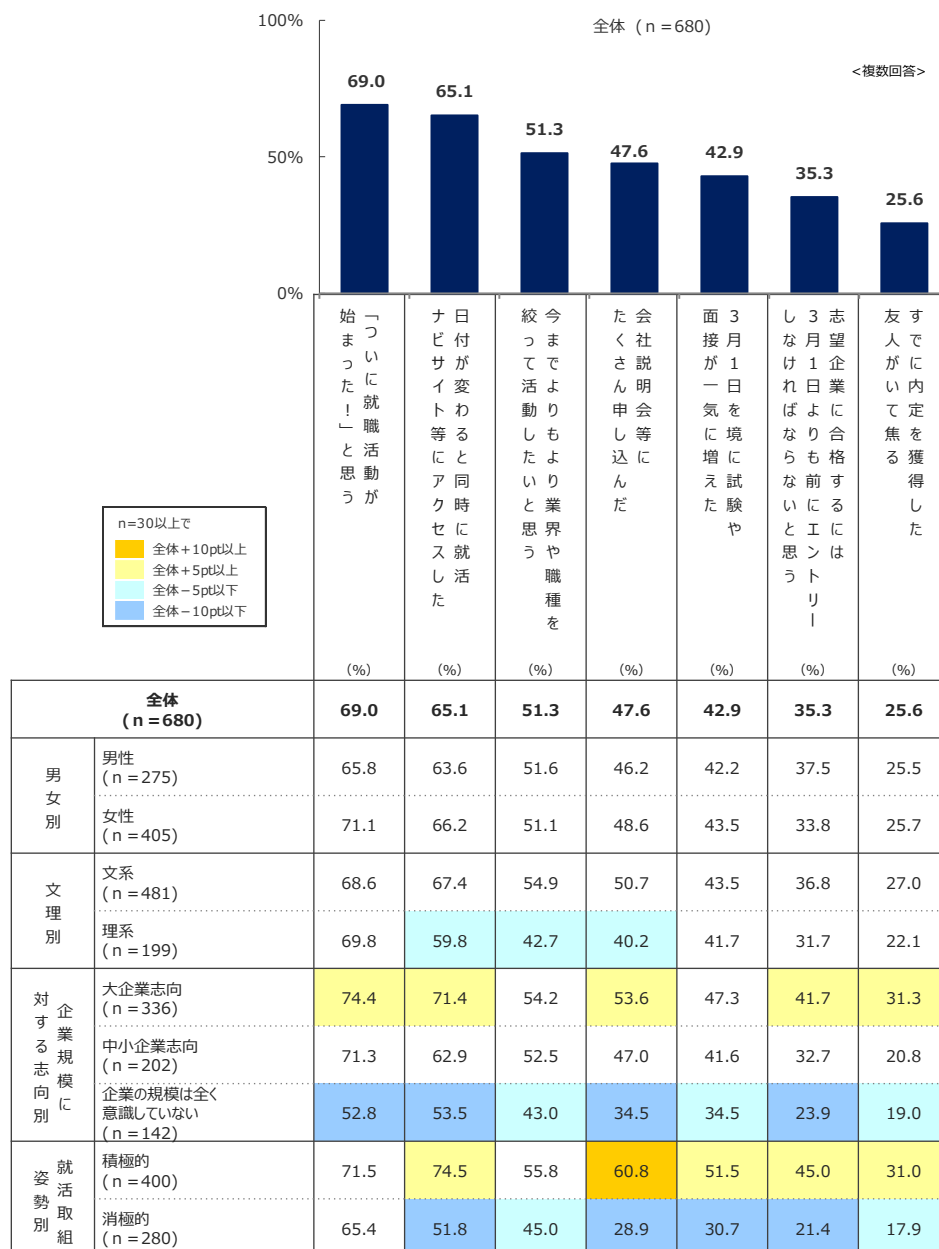
【表13.2】 今まで興味がなかった「業界」「職種」に応募すると回答した学生の割合：属性別

		業界 (%)	職種 (%)
<b>2018年卒 3月1日調査 全体 (n=593)</b>		<b>62.9</b>	<b>56.2</b>
【前年】2017年卒 3月1日調査 全体 (n=550)		62.5	51.6
文理別	文系 (n=423)	67.6	61.0
	理系 (n=170)	51.2	44.1
就活取組姿勢別	積極的 (n=379)	64.6	57.0
	消極的 (n=214)	59.8	54.7
主な活動ステータス別	準備活動段階 (n=96)	57.3	59.4
	エントリー活動段階 (n=384)	66.1	56.8
	面接・試験段階以降 (n=113)	56.6	51.3

# 3月1日を迎えての心境・行動

学生に、3月1日を迎えてどのような気持ち・行動になったかを聞いた。「『ついに就職活動が始まった!』と思う」学生は69.0%、「日付が変わると同時に就活ナビサイト等にアクセスした」学生が65.1%に上った。また、「大企業志向」の学生や就活取組姿勢が「積極的」な学生は、その他の学生よりも全体的に回答割合が高くなっており、就職活動解禁を迎えて、より気持ちが盛り上がっている様子がうかがえる(図14)。

【図14】 3月1日を迎えて、どのような気持ち・行動になったか：属性別



# 企業に評価される自信があるもの

学生に、企業側に評価される自信のあるものは何か聞いた。最も回答を集めたのは「人柄・性格」で、47.2%となっている。

男女別に見ると、最も多い回答は男女とも「人柄・性格」で変わらないものの、次いで多い回答は、女性で「アルバイト経験」、男性で「学生時代に行なった課外活動（サークル・部活動等）」となっている。

文理別に見ると、理系は文系よりも「学生時代に勉強していた内容」の回答割合が高い。一方で、「人柄・性格」「アルバイト経験」などの回答割合は文系よりも低くなっている。平均回答個数も文系に比べて少なくなっており、自信がない様子がうかがえる。

企業規模に対する志向別に見ると、大企業志向の学生は他の学生に比べて平均回答個数が多く、自信がある様子がうかがえる。特に、「学歴/学校名」に“自信がある”と回答した割合は、他の学生よりも大幅に高くなっていた。

就活取組姿勢別で「消極的」な学生は、「積極的」な学生に比べ平均回答個数が1.3個少ない。「わからない」と回答した学生は、26.3%で4分の1を超えている。

周囲からの評価別（「図4.1 自分のタイプ<周りからの評価の高さ>」参照）で周囲からの評価が「低い」と回答した学生も、企業に評価されるものが「わからない」学生が約3割となっており、自信のなさがうかがえる（表15）。

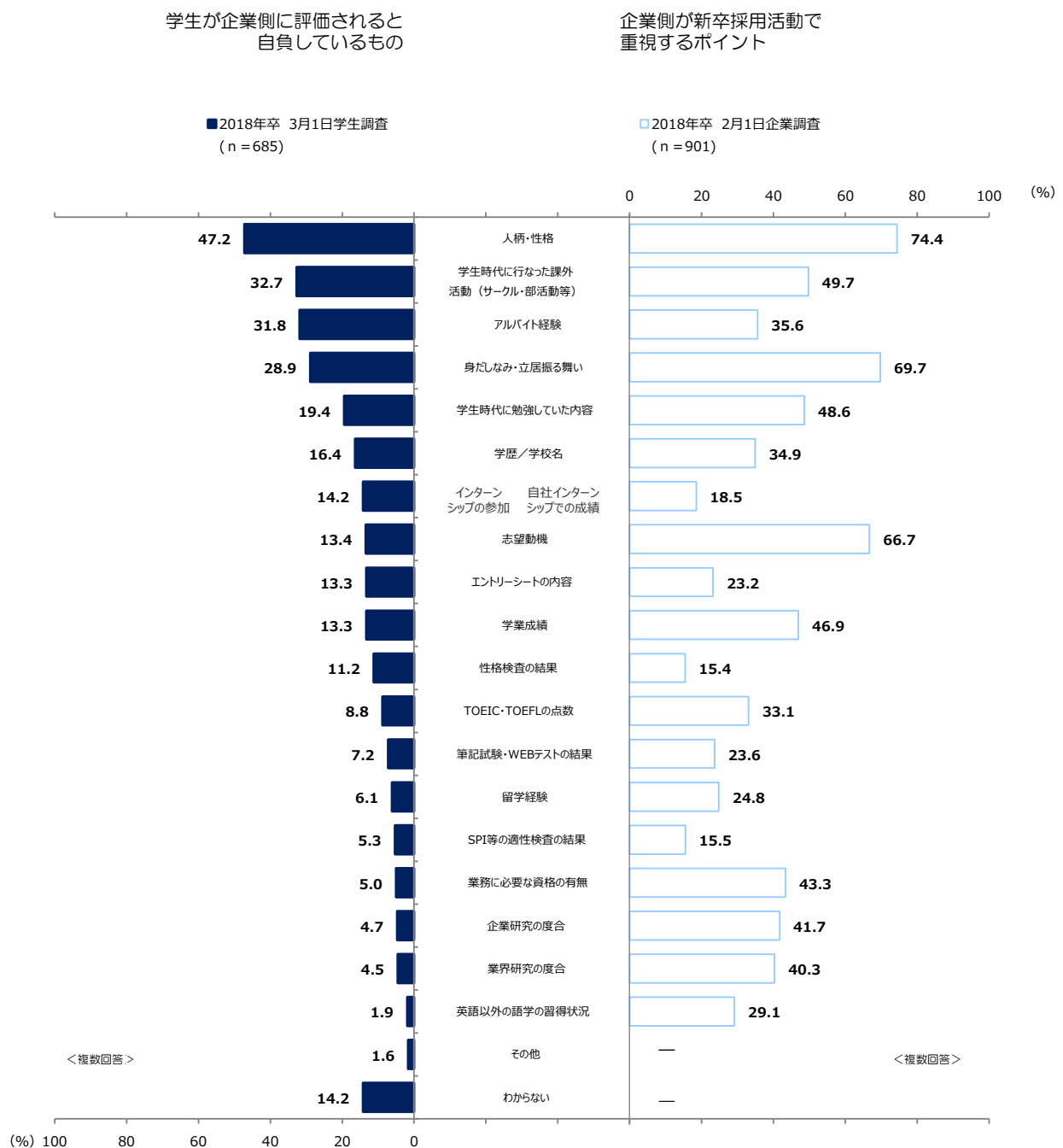
【表15】企業に評価される自信があるもの：属性別

		人柄・性格	学生時代に 行なった課外 活動（サークル・部活動等）	アルバイト 経験	立居振る舞い	身だしなみ・ していた内容	学生時代に 勉強	学歴/学校名	インターン シップの参加	志望動機	学業成績	エントリー シートの内容	性格検査の 結果	T O O E F I L C の 点数	筆記試験・W E B テストの結果	留学経験	適性検査の 結果	S P I 等の 結果	業務に必要な 資格の有無	企業研究の 度合	業界研究の 度合	習得状況 以外の語学	英語以外の 語学の	その他	わからない	平均回答 個数
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(個)	
2018年卒 3月1日調査 全体 (n=685)		47.2	32.7	31.8	28.9	19.4	16.4	14.2	13.4	13.3	13.3	11.2	8.8	7.2	6.1	5.3	5.0	4.7	4.5	1.9	1.6	14.2	2.9			
【前年】2017年卒 3月1日調査 全体 (n=659)		57.4	32.3	33.5	31.4	20.3	23.7	14.7	14.3	19.7	8.6	9.0	10.5	4.2	6.4	4.2	3.2	5.3	5.9	3.0	12.6			3.1		
【前々年】2016年卒 3月1日調査 全体 (n=632)		62.8	33.4	30.1	36.6	19.9	21.8	13.6	12.7	18.7	8.1	7.8	7.4	4.6	6.3	3.6	3.3	4.0	4.9	2.4	12.7			3.2		
男女別	男性 (n=277)	42.6	35.7	25.3	22.4	23.8	18.8	17.0	16.6	13.4	16.2	11.2	7.9	9.7	5.4	6.5	5.8	6.5	5.4	1.4	2.2	15.2	2.9			
	女性 (n=408)	50.2	30.6	36.3	33.3	16.4	14.7	12.3	11.3	13.2	11.3	11.3	9.3	5.4	6.6	4.4	4.4	3.4	3.9	2.2	1.2	13.5	2.8			
文理別	文系 (n=484)	51.9	33.9	34.3	29.1	16.5	14.9	13.8	14.5	14.3	13.6	12.2	8.9	7.0	8.1	5.0	3.7	4.8	5.2	2.5	2.1	13.6	3.0			
	理系 (n=201)	35.8	29.9	25.9	28.4	26.4	19.9	14.9	10.9	10.9	12.4	9.0	8.5	7.5	1.5	6.0	8.0	4.5	3.0	0.5	0.5	15.4	2.6			
対する志向別	大企業志向 (n=337)	50.1	37.7	31.5	30.6	19.0	25.5	15.4	13.4	13.6	16.3	11.3	12.5	9.8	7.1	6.8	5.3	5.9	7.1	2.1	1.2	8.3	3.2			
	中小企業志向 (n=204)	46.6	28.4	37.3	29.9	18.6	6.9	13.7	13.7	12.7	10.3	11.3	5.4	4.9	5.9	3.4	4.4	3.4	2.5	2.0	1.5	17.2	2.6			
	企業の規模は全く 意識していない (n=144)	41.0	27.1	25.0	23.6	21.5	8.3	11.8	13.2	13.2	10.4	11.1	4.9	4.2	4.2	4.2	4.9	3.5	1.4	1.4	2.8	23.6	2.4			
就活取組 姿勢別	積極的 (n=404)	56.7	40.1	36.4	33.7	20.3	16.3	20.8	16.3	14.1	17.8	12.4	9.7	7.4	7.9	6.9	5.2	6.2	6.2	2.0	2.0	5.7	3.4			
	消極的 (n=281)	33.5	22.1	25.3	22.1	18.1	16.4	4.6	9.3	12.1	6.8	9.6	7.5	6.8	3.6	2.8	4.6	2.5	2.1	1.8	1.1	26.3	2.1			
周囲から の評価別	高い (n=516)	55.0	37.2	34.5	34.5	20.5	17.2	16.5	14.5	15.5	16.1	12.0	9.1	7.6	7.4	6.2	6.0	5.6	5.4	2.1	1.7	9.1	3.2			
	低い (n=169)	23.1	18.9	23.7	11.8	16.0	13.6	7.1	10.1	6.5	4.7	8.9	7.7	5.9	2.4	2.4	1.8	1.8	1.8	1.2	1.2	29.6	1.7			

また、企業の新卒採用担当者901人を対象に行なった「2018年度新卒採用に関する企業調査（2017年2月1日状況）」（以下、2018年卒2月1日企業調査）では、同様の項目について新卒採用活動で重視する度合を聞いているため、本調査の結果と比較した。

学生が企業側に評価される自信があるものとして「人柄・性格」が最も多く挙げたが、多くの企業もこれを重視している。一方、企業側が重視するものとして3番目に多く挙げた「志望動機」については、自信を持っていると回答した学生は13.4%に留まっており、企業の視点と学生の自負にギャップが生じている（図15）。

【図15】企業に評価される自信があるもの：企業調査との比較



# キャリアアンカー

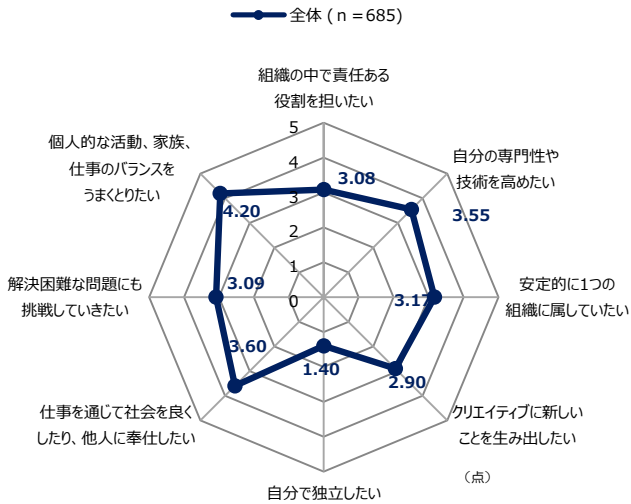
学生に、キャリアアンカー（個人が自身のキャリアを選択する際に、最も大切で他に譲ることのない価値観や欲求）について聞いた。全8項目（「管理能力」「技術的・機能的能力」「安全性」「創造性」「自律と独立」「奉仕・社会献身」「純粋な挑戦」「ワーク・ライフ・バランス」）に対し、各5点満点で合計が25点になるように点数をつけてもらい、平均化している。全体の傾向では、「個人的な活動、家族、仕事のバランスをうまくとりたい」の点数が4.20点で最も高く、「自分で独立したい」は1.40点で最低点となった（図16.1）。

過去の調査と比較すると、「個人的な活動、家族、仕事のバランスをうまくとりたい」「クリエイティブに新しいことを生み出したい」は年々増加傾向、「仕事を通じて社会を良くしたり、他人に奉仕したい」「自分の専門性や技術を高めたい」は年々減少傾向となっている（表16）。

男女別で見ると、女性は男性よりも「個人的な活動、家族、仕事のバランスをうまくとりたい」や「仕事を通じて社会を良くしたり、他人に奉仕したい」の点数が高い。その一方で、「自分で独立したい」の点数は男性よりも低くなっている（図16.2）。

就活取組姿勢別で見ると、「積極的」な学生において「消極的」な学生よりも特に点数が高かったものは「組織の中で責任ある役割を担いたい」「解決困難な問題にも挑戦していきたい」だった。一方、「消極的」な学生では、「自分の専門性や技術を高めたい」「安定的に1つの組織に属していきたい」が「積極的」な学生よりも点数が高くなっていた（図16.3）。

【図16.1】キャリアアンカー

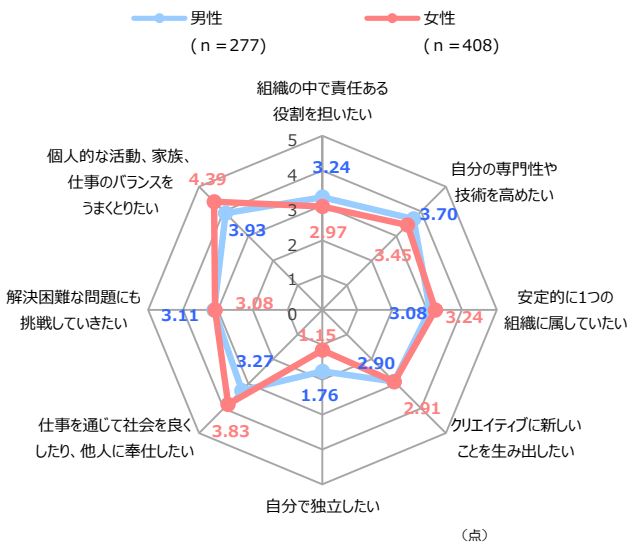


【表16】キャリアアンカー：前年調査、前々年調査との比較

	組織の中で責任ある役割を担いたい	自分の専門性や技術を高めたい	組織に属したい	安定した生活を生みたい	クリエイティブに新しいことを生み出したい	自分で独立したい	仕事を通じて社会を良くしたり、他人に奉仕したい	解決困難な問題にも挑戦していきたい	個人的な活動、家族、仕事のバランスをうまくとりたい
2018年卒 3月1日調査 全体 (n=685)	3.08	3.55	3.17	2.90	1.40	3.60	3.09	4.20	
【前年】2017年卒 3月1日調査 全体 (n=659)	3.16	3.59	3.13	2.85	1.47	3.71	2.98	4.11	
【前々年】2016年卒 3月1日調査 全体 (n=632)	3.14	3.64	3.20	2.74	1.36	3.74	3.09	4.10	

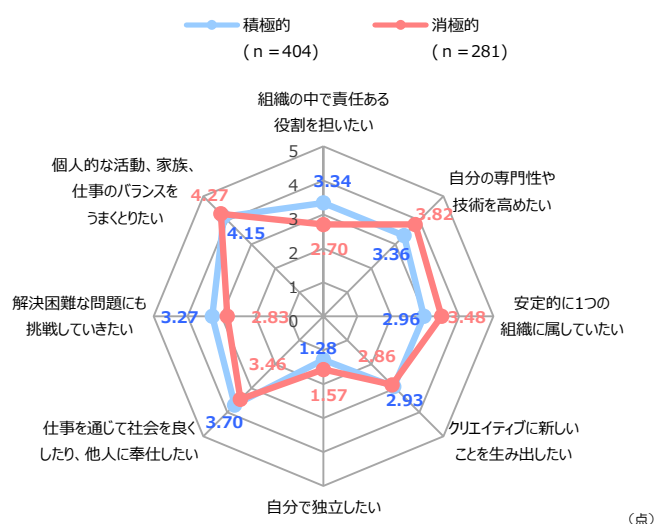
(点)

【図16.2】キャリアアンカー：男女別



(点)

【図16.3】キャリアアンカー：就活取組姿勢別

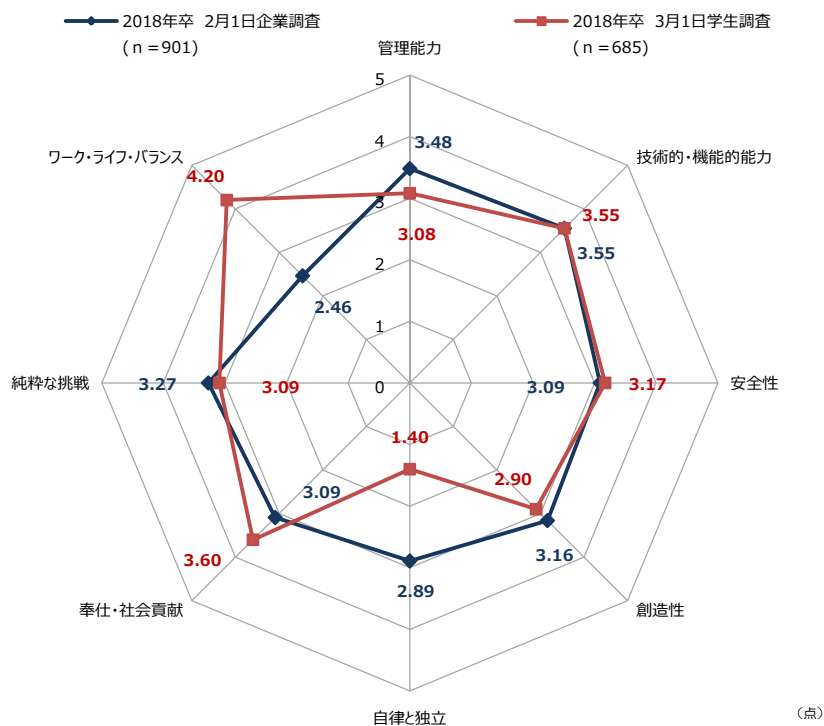


(点)

また、「2018年卒2月1日企業調査」では、新卒採用活動において企業側がアピールポイントとしているものは何か、同様の項目・形式を用いて聞いている。本調査の結果と比較すると、学生がワーク・ライフ・バランスを最も重視している傾向があるのに対し、企業側のワーク・ライフ・バランスに関する項目の点数は最も低い。学生が求める価値観と企業側のアピールが合致していない様子が浮き彫りになっている（図16.4）。

学生側への聴取項目		企業側への聴取項目
組織の中で責任ある役割を担いたい	管理能力	組織を統率し、責任ある役割を任せること
自分の専門性や技術を高めたい	技術的・機能的な能力	専門性や技術を高められること
安定的に1つの組織に属していたい	安全性	社会的・経済的に安定的なこと
クリエイティブに新しいことを生み出したい	創造性	クリエイティブに新しいことを生み出せること
自分で独立したい	自律と独立	ルールに縛られず、自律的に仕事を進められること
仕事を通じて社会を良くしたり、他人に奉仕したい	奉仕・社会貢献	会社を通じて、社会貢献できること
解決困難な問題にも挑戦していきたい	純粋な挑戦	難しい課題にも挑戦できること
個人的な活動、家族、仕事のバランスをうまくとりたい	ワーク・ライフ・バランス	ワーク・ライフ・バランスが実現可能なこと

【図16.4】 キャリアアンカー：企業調査との比較



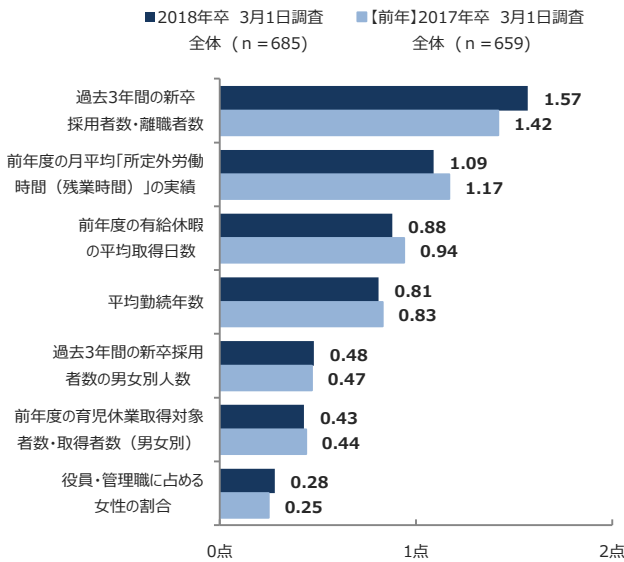
# 企業に公表してほしい情報

学生に、「過去3年間の新卒採用者数・離職者数」「過去3年間の新卒採用者数の男女別人数」等の7項目のうち、どの情報を企業に公開してほしいか、1位から3位までの順位を聞いた。1位を3点、2位を2点、3位を1点として集計したところ、最も点数の高かった項目は「過去3年間の新卒採用者数・離職者数」だった。続いて「前年度の月平均『所定外労働時間（残業時間）』の実績」「前年度の有給休暇の平均取得日数」となった（図17.1）。

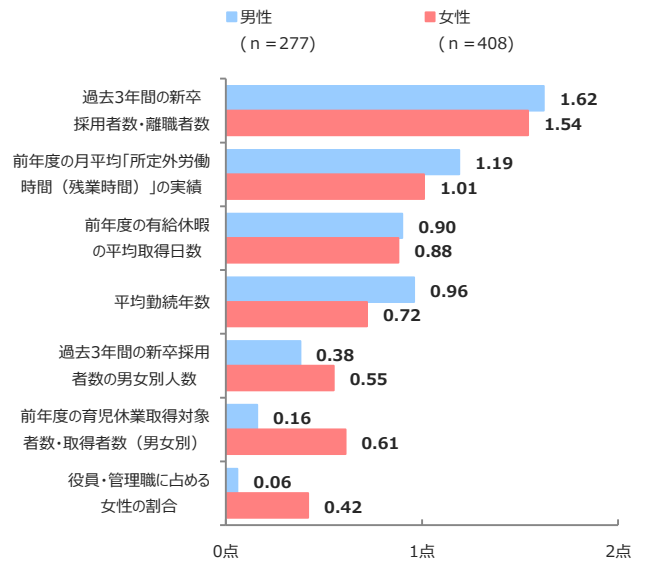
男女別に見ると、女性は「過去3年間の新卒採用者数の男女別人数」「前年度の育児休業取得対象者数・取得者数（男女別）」「役員・管理職に占める女性の割合」の点数が男性よりも高くなっており、これらの情報に関心が高いことがうかがえる（図17.2）。

また、2018年卒2月1日企業調査において、同様の7項目について“採用ホームページや求人票等で情報提供・公表しているもの”と“できれば情報提供・公表したくないもの（公表の有無は問わず）”を聞いている。学生の結果と比較すると、“企業が公表している”項目と“学生が公表してほしい”項目にはギャップがあることがうかがえる（表17）。

【図17.1】企業に公表してほしい情報：前年調査との比較



【図17.2】企業に公表してほしい情報：男女別



【表17】企業に公表してほしい情報：企業調査との比較

	2018年卒 3月1日学生調査 (n=685)	2018年卒 2月1日企業調査 (n=901)	
	企業に公表してほしい情報	採用ホームページや求人票等で情報提供・公表しているもの	できれば情報提供・公表したくないもの (公表の有無は問わず)
1	過去3年間の新卒採用者数・離職者数	過去3年間の新卒採用者数・離職者数	過去3年間の新卒採用者数・離職者数
2	前年度の月平均「所定外労働時間（残業時間）」の実績	過去3年間の新卒採用者数の男女別人数	過去3年間の新卒採用者数の男女別人数
3	前年度の有給休暇の平均取得日数	平均勤続年数	前年度の月平均「所定外労働時間（残業時間）」の実績
4	平均勤続年数	前年度の有給休暇の平均取得日数	平均勤続年数
5	過去3年間の新卒採用者数の男女別人数	前年度の月平均「所定外労働時間（残業時間）」の実績	前年度の有給休暇の平均取得日数
6	前年度の育児休業取得対象者数・取得者数（男女別）	役員・管理職に占める女性の割合	役員・管理職に占める女性の割合
7	役員・管理職に占める女性の割合	前年度の育児休業取得対象者数・取得者数（男女別）	前年度の育児休業取得対象者数・取得者数（男女別）



# 新卒人材紹介サービスの利用状況

「1 就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」と回答した学生を除き、新卒人材紹介サービスの認知・利用状況について聞いた。

“知っている（以下、認知率）”と回答した学生は69.4%で、前年調査と比較すると11.1ポイントの増加となっている。

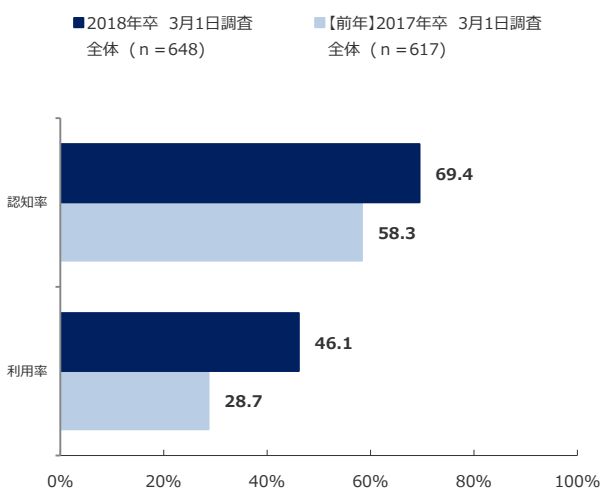
“利用経験あり（以下、利用率）”と回答した学生は46.1%となり、“利用経験なし”の学生が53.9%いることがわかる。利用率は、前年調査から17.4ポイント増加となり大幅に伸びている。

また、認知率と利用率の差は23.3ポイントとなり、前年調査の29.6ポイントよりも小さくなった。“知っているが利用していない”という学生の割合は減少したようだ（図18.1）。

属性別に見ると、理系よりも文系、就活取組姿勢が「消極的」な学生よりも「積極的」な学生で、認知率と利用率がともに高くなっている（表18.1）。

新卒人材紹介サービスについて“利用経験なし”の学生に、新卒人材紹介サービスの利用意向について聞いた。結果は、どちらかと言えばも含めて65.0%の学生が“利用したい”と回答し（図18.2）、特に女性と文系で利用意向が強くなっていた（表18.2）。

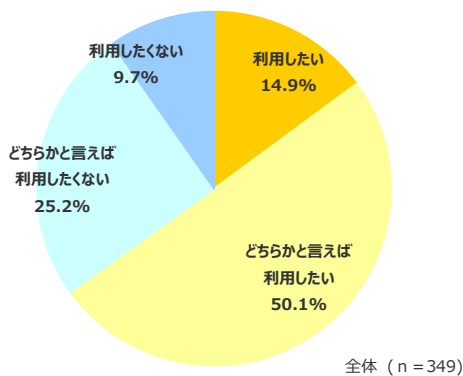
【図18.1】新卒人材紹介サービスの認知率、利用率：前年調査との比較



【表18.1】新卒人材紹介サービスの認知率、利用率：属性別

		認知率 (%)	利用率 (%)
<b>全体 (n=648)</b>		69.4	46.1
男女別	男性 (n=257)	70.0	47.5
	女性 (n=391)	69.1	45.3
文理別	文系 (n=461)	73.3	49.9
	理系 (n=187)	59.9	36.9
就活取組姿勢別	積極的 (n=399)	77.4	54.6
	消極的 (n=249)	56.6	32.5

【図18.2】新卒人材紹介サービスの利用意向



【表18.2】新卒人材紹介サービスの利用意向：属性別

		利用したい (%)	利用どちらか良かった (%)	利用どちらか悪かった (%)	利用したくない (%)
<b>全体 (n=349)</b>		14.9	50.1	25.2	9.7
男女別	男性 (n=135)	14.8	41.5	29.6	14.1
	女性 (n=214)	15.0	55.6	22.4	7.0
文理別	文系 (n=231)	16.9	51.1	22.9	9.1
	理系 (n=118)	11.0	48.3	29.7	11.0

# 新卒人材紹介サービスのイメージ

「1 就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」と回答した学生を除き、新卒人材紹介サービスのイメージについて聞いた。

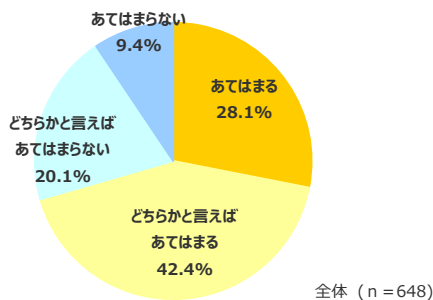
「自分の希望に合った企業を紹介してくれる」については、「あてはまる」28.1%、「どちらかと言えばあてはまる」42.4%となり、70.5%の学生が肯定的に捉えていた（図19.1）。利用経験有無別（「図18.1 新卒人材紹介サービスの認知率、利用率」参照）を見ると、利用経験の有無でイメージに大きな差は見られなかった（図19.2）。

「自分の就職活動の視野が広がる」については、「あてはまる」34.0%、「どちらかと言えばあてはまる」42.7%となった（図19.3）。利用経験有無別に見ると、「利用経験あり」の学生は、「あてはまる」「どちらかと言えばあてはまる」の合計が80.6%となっており、「利用経験なし」の学生の73.4%を7.2ポイント上回っていた（図19.4）。

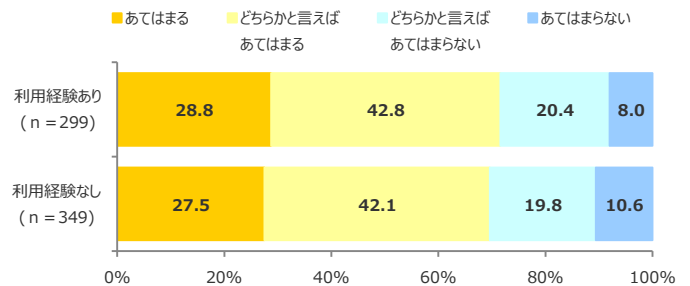
「書類の添削や模擬面接など就活対策をしてくれる」については、「あてはまる」29.5%、「どちらかと言えばあてはまる」45.7%となった（図19.5）。利用経験有無別に見ると、「あてはまる」「どちらかと言えばあてはまる」の合計値は、「利用経験あり」の学生が78.2%、「利用経験なし」の学生が72.5%となり、利用経験のある学生の方がより肯定的に捉えている（図19.6）。

新卒人材紹介サービスの利用経験がある学生は、実際の利用を通じてサービスのメリットをより実感していることがうかがえる。

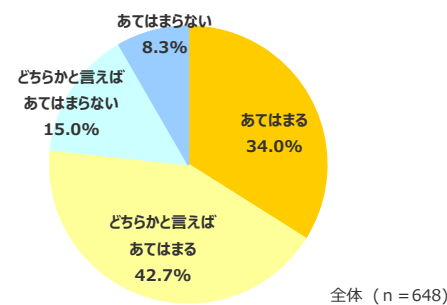
【図19.1】新卒人材紹介サービスのイメージ／自分の希望に合った企業を紹介してくれる



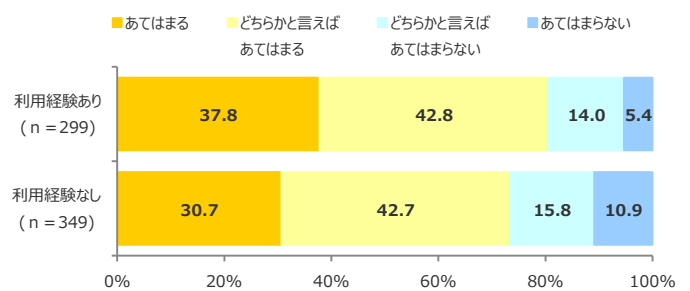
【図19.2】新卒人材紹介サービスのイメージ／自分の希望に合った企業を紹介してくれる：利用経験有無別



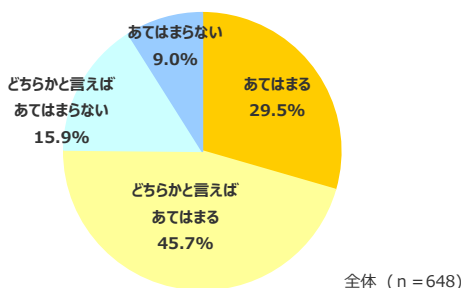
【図19.3】新卒人材紹介サービスのイメージ／自分の就職活動の視野が広がる



【図19.4】新卒人材紹介サービスのイメージ／自分の就職活動の視野が広がる：利用経験有無別



【図19.5】新卒人材紹介サービスのイメージ／書類の添削や模擬面接など就活対策をしてくれる



【図19.6】新卒人材紹介サービスのイメージ／書類の添削や模擬面接など就活対策をしてくれる：利用経験有無別

